

UR × グリーン インフラ

事 例 集

持続的でしなやかなまちづくりに向け、地域課題の解決や魅力upに「みどり」を効果的に活用していきます



UR 都市機構が
実践した
グッドプラクティス

■ 本事例集の活用（目的）

— 本事例集の目的 —

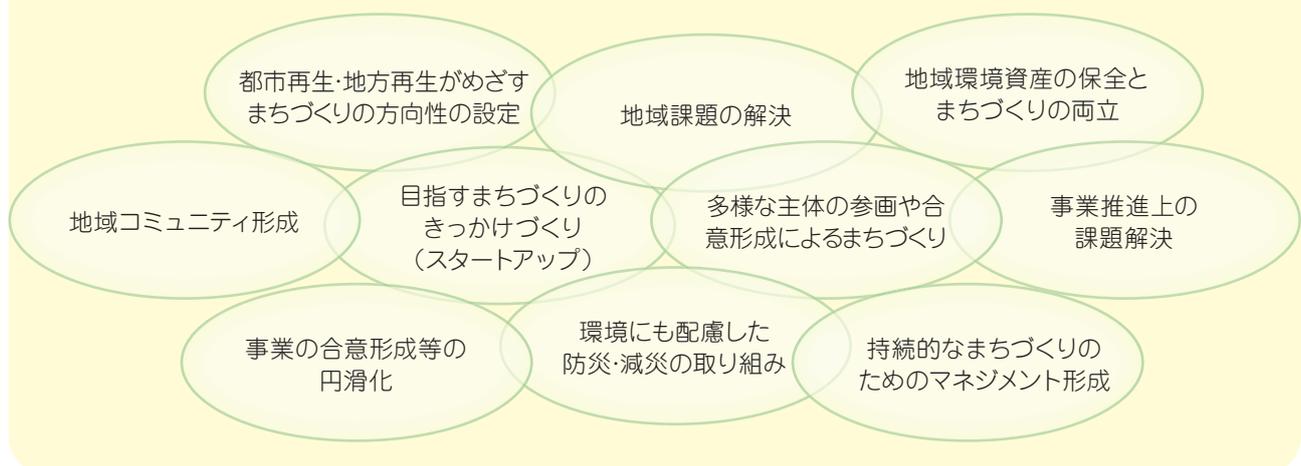
本事例集では、これまでUR都市機構が実践してきたハードからソフトに渡る様々なグリーンインフラを活用したまちづくりの取組を整理するとともに、今後のまちづくりでのヒントや参考になることを見据えて、まちづくりの課題を中心に、グリーンインフラの活用事例を整理しています。

そのため、先のまちづくりの空間、ハード及びソフト、事業の段階別から見た5つの大分類をもとに、大分類ごとに小分類を設定した上で、対象となる地区での事例紹介をしています。

— 本事例集の活用 —

本事例集の活用により、今後の新たなまちづくりのきっかけづくり、事業の意味づけの強化、事業推進上の課題解決、具体的なインフラ整備、住民等の合意形成などのまちづくりにおける様々な場面において、グリーンインフラを活かした、しなやかで持続的なまちづくりが展開されることを期待しています。

◎これからの都市再生・地方再生・団地再生などまちづくりの様々な場面で…



これまでUR都市機構がまちづくりの中で実践してきた
グリーンインフラの取組<本事例集>

グリーンインフラの取組の投入

グリーンインフラの活用によるまちの課題解決や魅力向上へ

地域環境資産の保全と、地域内外のみどりの「つながり」の確保

みどりの「しなやかさ」を活用した安全安心の向上

みどりの「多様性」を活用した賑わいや快適性の向上、健康への寄与

みどりの「成長成熟」を活かした人と地域・人と人の「つながり」の確保、愛着の向上、持続的な地域マネジメントの形成

■ 本事例集の構成（見方）

本事例集は、URにおけるグリーンインフラの取組を5つの分類別に、具体的な実施事例を紹介しています。地区別事例紹介ではその地区における「まちづくり課題」について、「みどり」の活用による解決方法と、その「導入効果」についてまとめています。また、今後のまちづくりにおける「みどり」の活用のヒントとなる「今後の活用 keyword」についても整理しています。

① 大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	② 種別	震災復興
③ 小分類	b-2) 治水対策（洪水、津波、集中豪雨等）		
④ 課題	住民の想いや景観に配慮した津波対策		
⑤ 実施事項	みどりを活かした津波防災緑地の参加型の整備		
⑥ 概要	・津波から市街地を守る多重防潮堤整備では、通常の防潮堤に加え、防災緑地として緑の防潮堤を整備した。整備にあたっては高台住宅地の造成で伐採される樹木の遺伝子を残したいという住民の想いを出発点に、ドングリから育てた苗木を住民参加で植栽した。		
⑦ 導入効果	・日常景観にも配慮した防災性の向上、住民の自然との親しみと交流		

⑧ 【薄磯地区（福島県いわき市）】

⑨ ◎緑の防潮堤（防災緑地）

- ・本地区は、東日本大震災により最高高さ8.5mの津波に襲われ、甚大な被害を受けた。
- ・地域の豊かな自然を極力復元するため、地区内に自生する木を残すよう樹木の苗を採取する「苗木採取プロジェクト」とともに、地元住民の想いを受け里山のドングリを拾い苗木に育てる「どんぐりプロジェクト」を実施したうえで、その苗を緑の防潮堤（防災緑地）に住民参加で植栽した。
- ・多様な主体が協働で地域環境とコミュニティの再生に取り組んでいる点が評価され、2018年10月、第38回緑の都市賞を受賞。



緑の防潮堤



住民参加型による緑の防潮堤に植栽



緑の防潮堤の案内板

- ⑩ 今後の活用 keyword みどりを活かしたしなやかな防災まちづくり、そのまちづくりへの市民参加、愛着づくり、災害対策とともに、平常時には利用可能な防災機能（緑地）の整備

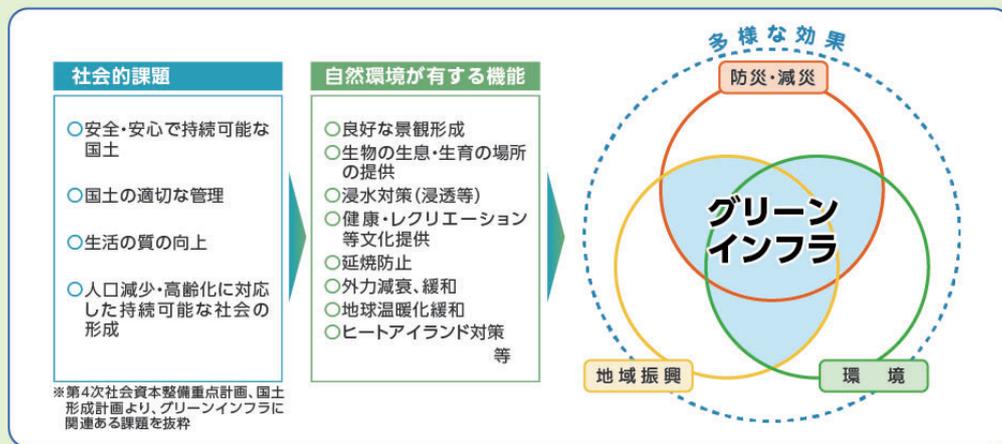
- ①大分類：グリーンインフラの取組を5つの項目で分類
- ②種別：まちづくりの種別について、新市街地、都市再生、震災復興、団地整備、団地再生で分類
- ③小分類：5つの大分類別に、さらに取組項目を分類
- ④課題：まちづくりの中での課題や目指すべき目的
- ⑤実施事項：グリーンインフラを活用した課題解決方法や具体化の取組事項
- ⑥概要：実施事項の概要説明
- ⑦導入効果：地域の課題解決にグリーンインフラを活用することでの導入効果
- ⑧対象地区：本事例の対象地区の名称
- ⑨事例説明：具体的事例地区における説明とイメージ写真等
- ⑩今後の活用 keyword：本事例の考え方をふまえた、グリーンインフラに関する keyword を掲載

グリーンインフラについて

現在、気候変動への対応、グローバル社会の中での魅力ある都市空間形成、SDGs に配慮した環境と共生したインフラ整備、既存社会資本の維持管理、地域特有の環境資産の持続的な維持管理等の重要性が高まるなかで、自然環境への配慮を行いつつ、自然環境に巧みに関与・デザインすることで、自然環境が有する機能を引き出すグリーンインフラ（Green Infrastructure）の重要性が高まっています。

グリーンインフラとは

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組（国土交通省）



◎防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

◎持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

国土交通省・グリーンインフラポータルサイトより一部改変

グリーンインフラの特徴と意義

(1)機能の多様性

・施設や空間そのものが多様な機能、様々な活動の場、エリア全体資源の活用

(2)多様な主体の参画

・地域住民との協働、民間企業との連携、新たなコミュニティ形成

(3)時間経過により機能を発揮

・自然環境変化に合わせ機能を発揮、歴史・生活・文化等を形成

グリーンインフラの活用を推進すべき場面

(1)気候変動への対応

・治水対策、暑熱緩和等

(2)投資や人材を呼び込む都市空間の形成

・魅力ある都市空間形成、投資や人材の呼び込み

(3)自然環境と調和したオフィス空間等の形成

・人材の健康・幸福度・生産性・創造性への影響

(4)持続可能な国土利用・管理

・管理コストの低減、自然の再生

(5)低未利用地の利活用と地方創生

・段階的な自然環境回復

(6)都市空間の快適な利活用

・緑と水のネットワーク形成による社会資本の更新・改良

(7)生態系ネットワークの形成

・生物の生息・生育・繁殖環境等を保全創出

(8)豊かな生活空間の形成

・自然を活かした集い、楽しみ等多様な活動

グリーンインフラ推進戦略より一部改変（国土交通省・令和元年7月）

UR 都市機構が取り組むグリーンインフラ

我が国において、SDGs^{*1} や ESG 投資^{*2} 等の「持続可能性」をキーワードにした取組みが重点化・主流化してきており、グリーンインフラの取組が期待されています。

そのグリーンインフラの骨幹となる自然環境が持つ多様な機能を持続的に発揮するにあたっては、地域特性を活かした自然環境の保全活用が重要となっています。

UR 都市機構では、これまでのまちづくりにおいて、地域特性を活かした自然環境の保全活用による地域環境の継承や生物多様性の確保をはじめ、「みどり」を活かした防災・減災への取組から良好な街なみ景観の形成等への取組はもちろんのこと、実装されたグリーンインフラを活用した多様な主体との連携・コミュニティ形成・賑わい形成など、ハードからソフトの多岐に渡る取組を実践してきました。

またこれらの取組を通じて、実装されたグリーンインフラへの地域住民・活動団体・民間事業者等の持続的な関わりの醸成支援も数多く実践してきました。

このように UR 都市機構が取り組むグリーンインフラでは、まちづくり事業や住宅事業といった限られた空間でありながら、広域的な視点にたち、その地域とのつながりや歴史文化の継承等に配慮するとともに、そのグリーンインフラを効果的に活用し、様々なまちの課題解決や魅力向上を図ってきました。

UR のまちづくりにおけるグリーンインフラを活用した取組は、今日の都市再生及び団地再生事業等においても積極的に取り入れ、地域課題や事業課題の解決、地域の魅力や価値の向上などに役立っています。

※ 1 SDGs : Sustainable Development Goals

2015 年 9 月の国連サミットで採択され、国連加盟 193 国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた 17 の目標と 169 のターゲットからなる目標「持続可能な開発目標」

まちづくりにおけるグリーンインフラの取組は、SDGs の達成に寄与する取組ともなっています。

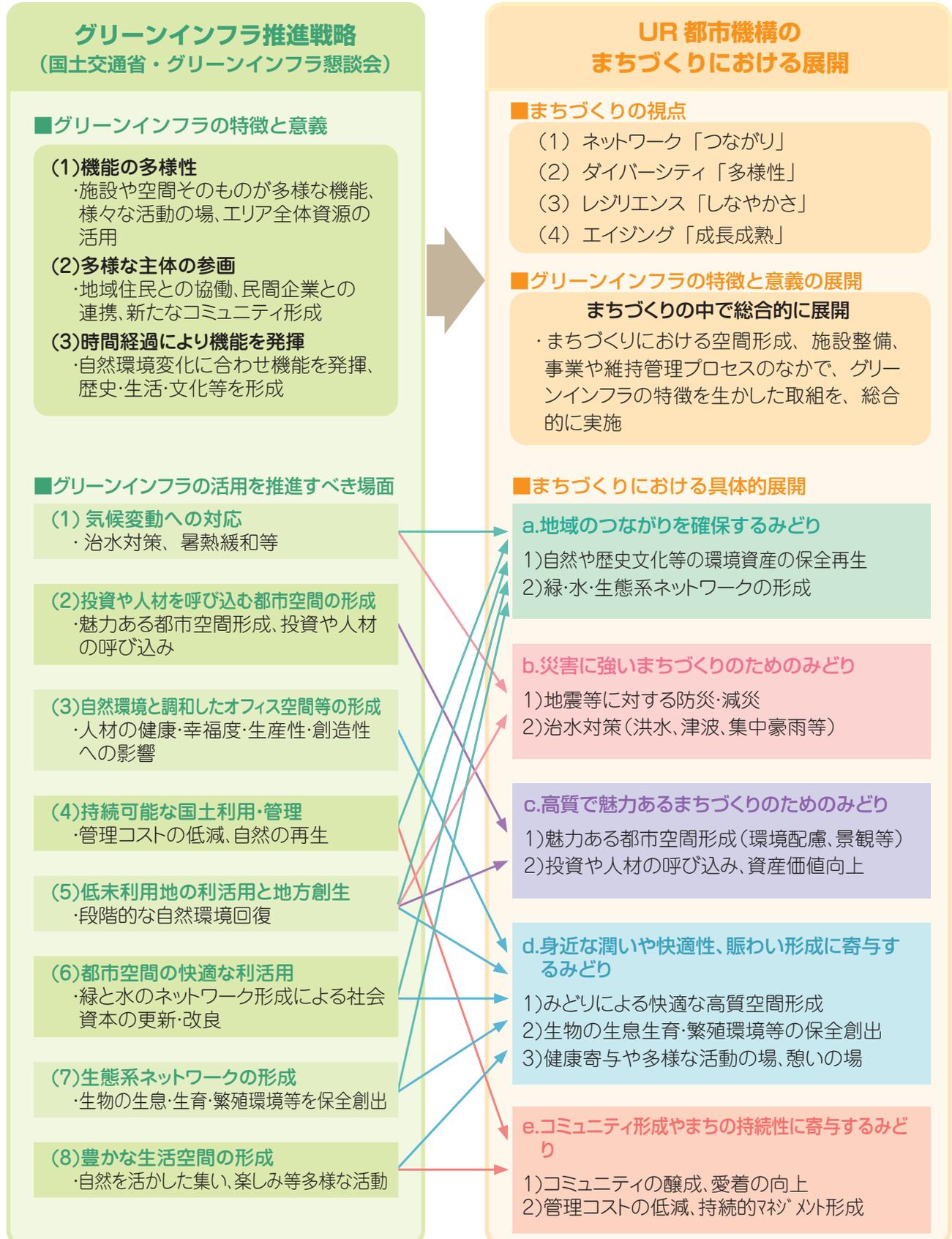


※ 2 ESG 投資 : Environmental/Energy Factors, Social Issues, Governance Concern

ESG とは、企業の長期的な成長のためには、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) といった ESG が示す 3 つの観点が必要だという考え方。さらに投資の意思決定において、従来型の財務情報だけを重視するだけでなく、ESG も考慮に入れる手法は「ESG 投資」と呼ばれている。

グリーンインフラ推進戦略との関係性

国のグリーンインフラ推進戦略（令和元年7月）における推進すべき事項と、UR都市機構のまちづくりにおけるグリーンインフラの関わりは以下のようになっています。



URのまちづくりにおける「みどり」の活用

本事例集では、UR都市機構がまちづくりの中で取組むグリーンインフラ形成について、今後のまちづくりでの活用を見据えて、その取組段階や場面別に5つの項目により整理を行っています。

a.地域のつながりを確保する「みどり」

-周辺環境とのつながりや環境負荷軽減に配慮した基盤形成-



周辺とのつながりに配慮した自然環境や生物多様性の保全・再生・創出を行っています。

①自然や歴史文化等の環境資産の保全再生

・自然環境保全の技術や水循環システムの構築などにより、地域の歴史文化や自然環境資産を保全

②緑・水・生態系ネットワークの形成

・マスタープランから地域のつながりに配慮し、みどりを束ねる土地利用の工夫や、再生・創出によるつながりの確保



様々な土地利用によりつながりのあるみどりを確保

b.災害に強いまちづくりのための「みどり」

-みどりを活かした安全安心な基盤形成-



みどりの多様性やしなやかさを活かした防災・減災に資するまちづくりを行っています。

①地震等に対する防災・減災

・密集市街地等において、防災公園整備等のみどりを活かした防災性の向上と、地域の生活環境の改善や地域コミュニティの醸成

②治水対策

・都市型水害対策へのみどりの活用(雨水流出抑制等)
・みどりを活かし、地域の方々とともに育てる震災復興



みどりを活かした防潮堤整備を住民参加により実施

c.高質で魅力あるまちづくりのための「みどり」

-地区全体における魅力的なまちの形成-



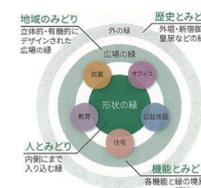
みどりを活かしたまとまりある街なみ形成や環境配慮の誘導を行っています。

①魅力ある都市空間形成(環境配慮、景観等)

・様々な事業者や関係者間のコーディネートによる地区の一体的な景観形成や環境配慮の誘導

②投資や人材の呼び込み、資産価値向上

・みどりを活かした地域特性づくりや、地域ブランディングづくりと価値の共有



みどりを活かした「共感型デザインコンセプト」の創出より、多様な主体が一体的に環境配慮施策を推進

d.身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与する「みどり」

-身近に潤いや快適性を実感できる環境づくり-



みどりを活かして住民やワーカーに快適で居心地のよい場の提供を行っています。

①みどりによる快適な高質空間形成

・沿道事業者等との官民連携によるみどり豊かな広幅員の街路空間や、滞留空間形成等の整備誘導

②身近な生物の生息環境等を保全創出

・参加型の身近な生物生息環境整備支援

③健康寄与や多様な活動の場、憩いの場

・社会実験等も交えた居心地のよい公園・広場整備
・バイオフィリックデザインによる緑化誘導

e.コミュニティ形成やまちの持続性に寄与する「みどり」

-地域コミュニティ形成や持続的なまちづくり-



みどりの成長とともに、人と人、人と地域のつながりを成熟させるまちづくりを行っています。

①コミュニティの醸成、愛着の向上

・みどりを活かした交流機会の提供、ライフスタイルの提案、住民の愛着や関わりへの深化に向けた活動支援

②管理コストの低減、持続的マネジメント形成

・地域コミュニティ形成や地域価値向上に向けたイベント支援やエリアマネジメントの組成支援



みどりを活用して、地元住民と新住民のコミュニティの形成支援

グリーンインフラの取組と効果等

グリーンインフラの取組の効果や手段、主な事例地区を整理しています。

大分類	小分類	まちの課題や目指す方向性
a.地域のつながりを確保するみどり ～周辺環境とのつながりや環境負荷軽減に配慮した基盤形成～	1)自然や歴史文化等の環境資産の保全再生 2)緑・水・生態系ネットワークの形成	①周辺とのみどりのつながりを確保したまちづくり ②自然環境資産や歴史・文化資産の保全に配慮したまちづくり ③環境負荷を軽減したまちづくり ④微気象緩和に寄与するまちづくり ⑤生物多様性の確保に配慮したまちづくり
b.災害に強いまちづくりのためのみどり ～みどりを活かした安全安心な基盤形成～	1)地震等に対する防災・減災 2)治水対策(洪水、津波、集中豪雨等)	①都市の総合治水対策への対応 ②密集市街地等での避難広場や避難路の確保と、日常生活環境の改善の両立 ③日常的な景観や住民の想いを踏まえた津波対策 ④生物多様性や景観にも配慮した河川の安全性向上
c.高質で魅力あるまちづくりのためのみどり ～地区全体における魅力的なまちの形成～	1)魅力ある都市空間形成(環境配慮、景観等) 2)投資や人材の呼び込み、資産価値向上	①複数事業者や関係者が関わる地区におけるまとまりある良好な街なみ形成 ②地区の特性や資産価値の向上、民間投資、人材の呼び込みを促すまちづくり ③住民のまちづくりに対する意識の醸成や協働によるまちづくりの推進
d.身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり ～身近に潤いや快適性等を実感できる環境づくり～	1)みどりによる快適な高質空間形成 2)身近な生物の生息環境等の保全創出 3)健康寄与や多様な活動の場、憩いの場	①市民に使われる、居心地のよい快適な公園や広場の提供、低未利用地の利活用 ②安全で快適な広幅員歩道のある街路空間形成 ③職場環境の生産性や創造性の向上やストレス軽減に資する環境づくり ④住民が関わることのできる身近な生き物空間の確保
e.コミュニティ形成やまちの持続性に寄与するみどり ～地域コミュニティ形成や持続的なまちづくり～	1)コミュニティの醸成、愛着の向上 2)管理コストの低減、持続的マシメント形成	①地元住民と新住民の円滑なコミュニティ形成 ②地域への愛着づくり ③みどりの持続的な運営管理に向けた、市民や民間事業者等の多様な関わりの醸成 ④持続的な賑わい形成等による地域活性化

「みどり」の活用	「みどり」を活かした解決手法等	主な事例地区
<ul style="list-style-type: none"> ◎樹林を様々な土地利用で束ねつなごうのある「みどり」を確保 ◎多様な工法による樹林環境の保全・再生・創出や、水循環システムの再生 ◎微気象緩和や生物多様性に寄与する周辺地域とつながりのある地区内の基盤や建物等の一体的な緑化 ◎指標生物を活用したエコロジカルネットワークの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基礎調査（土壌、緑等） ・環境システム計画（緑の配置、風の道、水の活用等） ・環境保全計画（地形、樹林、水系保全等） ・環境負荷軽減型まちづくり計画（水循環、省エネ等） ・エコロジカルネットワーク調査及び計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・港北ニュータウン ・流山おおたかの森 ・八王子みなみのシティ ・シャレール荻窪 ・江古田の杜
<ul style="list-style-type: none"> ◎「みどり」の多様性やしなやかさを活かすことで、防災性の向上と、街なみ景観や日常的な快適性の両立 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化技術等による都市型災害対策 ・みどりを活かした防災公園街区整備事業、密集市街地整備事業、防災街区整備事業 ・雨水貯留施設計画（調整池、調節池、地下貯留等） ・みどりの防潮堤整備、河川改修事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・根岸三丁目地区 ・世田谷ティーズヒル ・西ヶ原四丁目地区 ・桃井三丁目地区 ・薄磯地区 ・港北ニュータウン ・さいたま新都心公園（さいたま新都心地区） ・ハートランド SHINDEN
<ul style="list-style-type: none"> ◎「みどり」を活かして、複数の事業者や関係者をコーディネートによるまとまりのまちづくりの誘導や、住民参加のまちづくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」を活かしたまちづくりガイドライン、環境配慮ガイドライン、街なみ景観ガイドライン等の策定と運用によるまちづくり誘導 ・住民等へのみどりのまちづくりルール（地区計画、指針、緑化誘導、協定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・田町駅東口北地区 ・コモレ四谷 ・大崎駅周辺地域 ・豊洲三丁目3街区地区 ・九州大学六本松跡地地区 ・越谷レイクタウン
<ul style="list-style-type: none"> ◎「みどり」の多様な効用を活かした、潤いや快適性を実感できる快適な職場環境や住宅環境づくり ◎官民連携によるみどり豊かな街路空間や滞留空間整備のコーディネート ◎「みどり」の空間を活かした住民協働等による居心地のよい空間づくりや賑わい形成の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイスメイキング手法等による使い方から考える公園緑地、広場づくり ・快適な緑の街路・歩道づくり ・P-PFI や沿道まちづくり等の官民連携による公的空間形成のコーディネート ・バイオフリックデザインを活用した人工地盤緑化や建物緑化 ・ピオトープや多自然型護岸整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・リボンシティ ・江古田の杜 ・京島三丁目地区 ・岩倉防災公園地区 ・広島二葉の里地区 ・西ヶ原四丁目地区 ・大手町川端緑道 ・コモレ四谷
<ul style="list-style-type: none"> ◎「みどり」を活かして、地域交流や地域への住民の関わりなど人と人、人の地域のつながりづくりの支援 ◎「みどり」を活かして、新たなライフスタイルの提供や、地域への愛着につながる持続的な地域活動づくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加型まちづくりの実践 ・参加型運営管理体制づくりの支援（住民自主組織、アダプト、NPO、愛護会等） ・管理マニュアル ・エリアマネジメント形成支援 ・身近な花壇や農園づくり ・社会実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・東雲キャナルコート ・八王子みなみ野シティ ・港北ニュータウン ・安満遺跡公園（高槻市八丁畷地区）

■ 本事例集の一覧

分類	課題	地区名	P
a.地域のつながりを確保するみどり			
1) 自然や歴史文化等の環境資産の保全再生	既存の自然・文化景観(樹林・集落景観等)を極力保全したい	港北ニュータウン	14
	まちの土地利用と地域の様々な特性を持つ複数の自然環境の保全の両立	流山おおたかの森	15
	開発による地下水や河川の流量への影響の軽減	八王子みなみ野シティ	16
	地域の地形や植生、生き物を最大限保全したまちづくり	八王子みなみ野シティ	17
2) 緑・水・生態系ネットワークの形成	周辺地域との調和や環境に配慮した団地再生をしたい	シャレール荻窪	18
	周辺の自然環境と景観の継承に配慮したまちづくりをしたい	江古田の杜	19
b.災害に強いまちづくりのためのみどり			
1) 地震等に対する防災・減災	狭小敷地・行き止まり道路での憩いの場ともなる避難路の確保	根岸三丁目地区	20
	密集市街地における防災性の向上と居住環境の向上の両立	世田谷ティーズヒル	21
	密集市街地における地域の魅力向上に資する防災性能の強化	西ヶ原四丁目地区	22
	周辺環境との調和や個性豊かな景観形成をふまえた防災性能の強化	桃井三丁目地区	23
2) 治水対策(洪水、津波、集中豪雨等)	住民の想いや景観に配慮した津波対策	薄磯地区	24
	公共用地の削減のため、調整池を設置しない雨水流出抑制対策	港北ニュータウン	25
	日常的な活用を行う土地利用上での雨水流出抑制対策	さいたま新都心公園 (さいたま新都心地区)	26
	洪水や地震に強い治水対策と水辺を感じる生活環境の両立	ハートアイランド [®] SHINDEN	27

分類	課題	地区名	P
c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり			
1) 魅力ある都市空間形成 (環境配慮、景観等) 2) 投資や人材の呼び込み、 資産価値向上	利用や景観向上のため公園や公共建物施設を一体的な空間としたい	田町駅東口北地区	28
	多様な主体(関係者)が共有できるまちづくりコンセプトを打ち出したい	コモレ四谷	29
	事業者間で一体となって景観形成と環境配慮を行いたい	大崎駅周辺地域	30
	様々な事業者が混在した地区でまとまりあるランドスケープを形成したい	豊洲三丁目3街区地区	31
	既存の緑を極力活かし、良質な環境を伴う都市機能の集約	九州大学六本松跡地地区	32
	治水対策としての調節池をまちの特性として展開したい	越谷レイクタウン	33
d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり			
1) みどりによる快適な 高質空間形成	まち歩きが楽しい街路空間を創出したい	リボンシティ	34
	周辺のみどりとつながる避難路ともなる豊かな歩道空間を確保したい	江古田の杜	35
	防災性の向上とともに、日常での快適性の向上を両立したい	京島三丁目地区	36
	官民連携による防災性の向上と日常的な賑わいや利便性の向上を実現したい	岩倉防災公園地区	37
	地域の歴史の散歩道に資する歩行空間を整備したい	広島二葉の里地区	38
2) 生物の生息環境の保全創出	住民要望によるピオトープ空間づくりの実現	西ヶ原四丁目地区	39
3) 健康への寄与や多様な活動の場、憩いの場	近隣ワーカーの憩いの場や活動の場ともなる使われる緑道づくり	大手町川端緑道	40
	生産性や創造性の向上やストレスの軽減に資する職場環境をつくりたい	コモレ四谷	41
e. コミュニティ形成やまちの持続性に寄与するみどり			
1) コミュニティの醸成、愛着の向上 2) 管理コストの低減、持続的なマネジメント形成	地区内の住民交流等のコミュニティ形成や持続的な賑わいの醸成	東雲キャナルコート	42
	新旧居住者間の円滑なコミュニティ形成	八王子みなみ野シティ	43
	多様で多くのみどり環境の持続的な管理や活用方法の確立	港北ニュータウン	44
	市民等に積極的に使われ、関わり続けられる持続可能な公園づくり	安満遺跡公園(高槻市八丁畷地区)	45

UR 都市機構が取り組むグリーンインフラ事例集

グリーンインフラの活用事例地区の取組と、主な実施効果との関係性を整理しています。（本事例集で紹介している取組に対する効果は●で示し、その他副次的効果は○で示しています。）

また、一覧表に色が付いている箇所については、具体的に事例を整理しています。

		港北ニュータウン	流山おおたかの森	八王子みなみ野シティ	シャレード菟窪	江古田の杜	根岸三丁目地区	世田谷ティースヒル	西ヶ原四丁目地区	桃井三丁目地区	薄磯地区	さいたま新都心公園 (さいたま新都心地区)	ハートアイランド SHIRINDEN
ページ番号		14 25	15	16 17	18	19 35	20	21	22 39	23	24	26	27
分類	効果	44		43									
a	a-1) 地域環境資産（自然・歴史・文化等）の保全活用	●	●	●	●	●			○		○		
	緑のネットワーク形成	●	●	●	●	●					○		○
	水のネットワーク形成	●	●	●									○
	a-2) 雨水涵養（雨水浸透・貯留等）	●	●	●									
	微気象緩和・暑熱緩和（風の道や緑化など）	●	●	●	●	●	○	○		○		○	○
	生物多様性の確保	●	●	●	●	●			○	○			○
b	b-1) 地域の防災性の向上（防災公園・広場、避難路等）					○	●	●	●	●		●	●
	b-2) 都市型浸水被害の軽減（雨水浸透・貯留等）	●	○	○								●	
	河川や津波被害の軽減	●	○	○							●		●
c	c-1) 地区のまとまりある良好な街なみ景観形成	○	○	○	○	○		○		○			○
	公園広場等の十分なオープンスペースの確保	○	○	○	○	○			○	○			○
	地区で一体となった環境配慮（多様な主体の連携）	○	○	○	○	○							○
	c-2) 民間投資や人材の呼び込み	○	○	○		○		○					○
	地域ブランディングの向上、地域特性の発揮	○	○	○	○	○							○
	資産価値の向上、不動産価値の上昇	○	○	○	○	○			○	○			○
	公共用地率の削減と環境配慮等の両立	○	○	○		○							
d	d-1) 緑を活かした良質な街路・緑道空間の形成	○	○	○		●	○	○	●	○			○
	良質な滞留空間（公園・広場等）の形成	○	○	○	○	●	○	○	●	○		○	○
	みどりを活かした身近な生活環境の改善	○	○	○	○	●	○	○	●	○		○	○
	d-2) 身近な生物生息空間の確保	○	○	○	○	●			●				○
	身近な自然との親しみ・交流	○	○	○	○	●			●		○		○
	d-3) 住民等の憩いや活動の場の提供	○	○	○	○	●	○	○	●	○		○	○
	職場環境の改善（バイオフィリックデザイン）												
e	e-1) みどりを活かしたイベントや活動等の賑わい向上	●	○	●					○				
	地域コミュニティ形成への寄与	●	○	●	○	○			○		○		
	住民の地域への愛着向上	●	○	●	○	○			○	○	○		
	e-2) 住民等地域主体の継続的なイベントや活動の実施	●		●									
	地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）	●	○	●		○			○				
	みどりの管理コストの低減	●	○	●									
	みどりを活かしたエリアマネジメントの構築			●									

		田町駅東口北地区	コモレ四谷	大崎駅周辺地域	豊洲三丁目3街区地区	九州大学 六本松跡地地区	越谷レイクタウン	リボンシティ	京島三丁目地区	岩倉防災公園地区	広島二葉の里地区	大手町川端緑道	東雲キャナルコート	安満遺跡公園 (高槻市八丁畷地区)
ページ番号		28	29	30	31	32	33	34	36	37	38	40	42	45
分類	効果		41											
a	a-1)	地域環境資産（自然・歴史・文化等）の保全活用		○			○					○		○
	a-2)	緑のネットワーク形成	○	○	○	○		○	○			○	○	○
		水のネットワーク形成			○			○						
		雨水涵養（雨水浸透・貯留等）												
		微気象緩和・暑熱緩和（風の道や緑化など）	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	生物多様性の確保						○				○			
b	b-1)	地域の防災性の向上（防災公園・広場、避難路等）		○		○			○	○			○	○
	b-2)	都市型浸水被害の軽減（雨水浸透・貯留等）						○						
c	c-1)	地区のまとまりある良好な街なみ景観形成	●	●	●	●	●	○	○	○	○		○	
		公園広場等の十分なオープンスペースの確保	●	●	●	●	●	●	○		○	○		○
		地区で一体となった環境配慮（多様な主体の連携）	●	●	●	●	●	●		○		○	○	
	c-2)	民間投資や人材の呼び込み	●	●	●	●	●	●	○		○	○	○	○
		地域ブランディングの向上、地域特性の発揮	●	●	●	●	●	●	○		○		○	○
		資産価値の向上、不動産価値の上昇	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
	公共用地率の削減と環境配慮等の両立	●					●				○		○	
d	d-1)	緑を活かした良質な街路・緑道空間の形成	○	●	○	○	○	○	●			●	●	○
		良質な滞留空間（公園・広場等）の形成	○	●		○		○	●		●	●		○
		みどりを活かした身近な生活環境の改善	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○
	d-2)	身近な生物生息空間の確保						○						
		身近な自然との親しみ・交流						○						○
	d-3)	住民等の憩いや活動の場の提供	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○
職場環境の改善（バイオフィリックデザイン）			●									●		
e	e-1)	みどりを活かしたイベントや活動等の賑わい向上			○	○		○			○		○	●
		地域コミュニティ形成への寄与				○		○			○		○	●
		住民の地域への愛着向上				○		○			○		○	●
	e-2)	住民等地域主体の継続的なイベントや活動の実施				○		○			○		○	●
		地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）			○			○						●
		みどりの管理コストの低減						○						○
	みどりを活かしたエリアマネジメントの構築				○		○					○	●	

大分類	a. 地域のつながりを確保するみどり	種別	新市街地
小分類	a-1) 自然や歴史文化等の環境資産の保全再生		
課題	既存の自然・文化景観（樹林・集落景観等）を極力保全したい		
実施事項	公共用地の他、集合住宅、学校等公益施設に連続的な樹林を持たせた保全		
概要	・自然・文化景観をできるだけ多く残したい」という地元住民の想いのもと、「緑環境を最大限保全するまちづくり」を方針に、マスタープランの段階から様々な土地利用に緑地を持たせ、みどりの都市構造をつくる「グリーンマトリックスシステム」の導入により保全		
導入効果	・地域環境資産の保全、水と緑のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、雨水涵養、生物多様性の確保、地域ブランディングの向上・地域特性の発揮、住民の地域への愛着		

【港北ニュータウン（横浜市都筑区）】

◎グリーンマトリックスシステムの導入

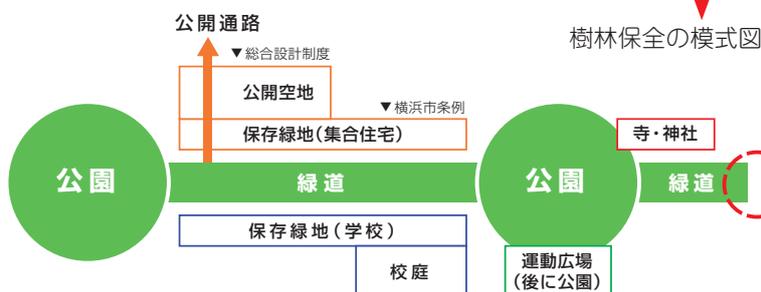
・「開発前の自然・文化景観を構成する樹林や集落のたたずまいをできるだけ多く残したい」という地元住民の想いを、出発点に、マスタープランの段階から、いかに多くの緑の環境を保全するかをまちづくりの主要課題に、「オープンスペースを骨格とした都市構造の模索」を行った。

・主な課題としては、課題1「区画整理における事業採算上、残した緑地全てを公共用地である公園に取り込めない」、課題2「誘致距離が基本の均等分散型の公園制度の中では、公園を細長く連続させることができない」といったことがあげられていた。

・対応策として、対応策1「束ねる1：公共用地である公園を緑道で結んで束ねて連続化し、中核となるパブリックな緑地を確保」、対応策2「束ねる2：公共用地に取り込めなかった緑地は、学校や集合住宅などの大型民有地の土地利用に取り込み、公共用地に束ねセミパブリックな緑地として確保」を実施。



グリーンマトリックスシステム



樹林保全の模式図



せせらぎの流れる緑道

良好な環境と多様なライフスタイルを創造する「グリーンマトリックスシステム」の導入により、公共用地及び民有地用地にまたがる幅広いみどりの都市構造を形成

今後の活用
keyword

グリーンマトリックスシステム、みどりによる都市構造の形成、新たなライフスタイルの創出とみどりの連続的な保全の連動、民有地におけるみどりの保全誘導

大分類	a. 地域のつながりを確保するみどり	種別	新市街地
小分類	a-1) 自然や歴史文化等の環境資産の保全再生		
課題	まちの土地利用と地域の様々な特性を持つ複数の自然環境の保全の両立		
実施事項	既存の地形や植生等の特性を活かし、公園や調節池、調整池など多様な土地利用での保全		
概要	・ 地区内に点在する公園・調節池・調整池の整備にあたり、それぞれの地形や特性、自然環境を活かした整備・保全を実施		
導入効果	・ 地域環境資産の保全、水と緑のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、雨水涵養、生物多様性の確保、都市型浸水被害の軽減、地区で一体となった環境配慮、住民の地域への愛着		

【流山おおたかの森（千葉県流山市）】

◎流山おおたかの森地区

・ つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」を中心に広がる約275haに新たな住宅市街地を形成。

◎市野谷の森

・ 県立市野谷の森公園に隣接して、地区内に近隣公園を整備し、地域の自然環境を一体的に保全。

◎大堀川防災調節池

・ 洪水調整の調節池整備あたり、多様な主体による「大堀川美しい水辺づくり懇談会」を発足し、自然環境の整備・保全方針の作成や、柔軟な維持管理のしくみづくりを実施。

◎市野谷調整池

・ 暫定整備段階で、絶滅危惧種指定の「セイタカシギ」をはじめとする様々な水鳥が飛来していたことから、いったん別の暫定調整池に、ベントス（水底に生息する生物）、水生生物、水、ヨシやガマなどを移植し、調整池整備後にその環境を戻すミティゲーション手法により生物生息環境の保全を実施した。

市野谷の森（全体 24.1ha）



今後の活用
keyword

地域の多様な主体による自然環境方針作成とそのコーディネート、現況のみどりの特性にあわせた新たなまちの土地利用の配置手法、地域自然環境の保全のためのミティゲーション手法

大分類	a. 地域のつながりを確保するみどり	種別	新市街地
小分類	a-1) 自然や歴史文化等の環境資産の保全再生		
課題	開発による地下水や河川の流量への影響の軽減		
実施事項	貯留浸透施設の設置、地下水脈の帯水層の復元等の水循環再生システムによる水循環の保全		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 造成による地下水脈の分断を防ぐため、地下水脈が不連続になった部分に難透水性の盛土をし、その上部に透水性の盛土をすることで人工的に帯水層の復元を実施。また、公園や学校の校庭の地下に砕石空隙貯留施設を整備、各敷地には浸透マスや、浸透トレンチを配置、歩道等に透水性舗装を採用し、河川のピーク流量の軽減、渇水期の流量の確保を図った。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水対策と雨水涵養（ピーク時流量の低減、渇水時期の水量の確保）、水のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、生物多様性の確保、みどりを活かした身近な生活環境の改善（河川沿い） 		

【八王子みなみ野シティ（東京都八王子）】

◎八王子みなみ野シティ

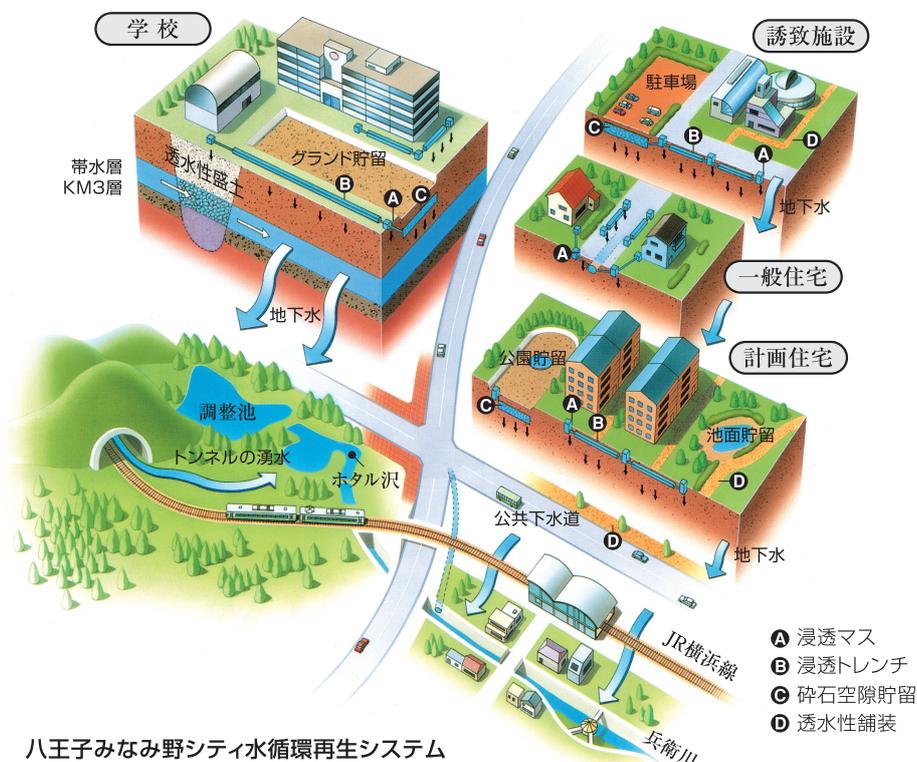
- ・ 「アーバンビレッジ」をコンセプトに、趣味や地域に根ざした交流を行う「クラブライフ交流都市」、環境にやさしい街「環境共生都市」をテーマにまちづくりが進められ、周辺地域とのつながりを持つ谷戸空間などの地形や緑を地区内に保全し、まちの骨格としてまちづくりを実施。

◎水循環再生システムの導入

- ・ 開発に伴う水系への影響を可能な限り緩和するとともに、都市型災害の抑制を図るため、水循環再生システムを導入。公園・校庭・住棟間で貯留施設、浸透マス・浸透トレンチ・透水性舗装等の浸透施設、地下水層の復元等を実施。

◎水循環再生システムの導入効果

- ・ システムがない場合と比較し、兵衛川のピーク流量が2～4割（最大50m³/s）減少し、渇水時流量は1.5～2.0倍となる調査結果が得られている。



八王子みなみ野シティ水循環再生システム

今後の活用
keyword

一体的な水循環再生システムの構築、雨水浸透流出抑制型下水道、オフサイト調整貯留施設（調整池）、オンサイト貯留・浸透施設（公園や校庭での貯留、浸透トレンチ、浸透マス、透水性舗装）、深層地下水の漏水防止、浸透層の復元、地下水修理工法、湧水の導水、調整池の利水量確保

大分類	a. 地域のつながりを確保するみどり	種別	新市街地
小分類	a-1) 自然や歴史文化等の環境資産の保全再生		
課題	地域の地形や植生、生き物を最大限保全したまちづくり		
実施事項	造成の工夫や樹木移植、樹林の保全、ホタル等の生息環境の保全管理によるまちづくり		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 開発前の地形を活かした造成により、尾根部分を緑地として保全。現況の優良景観樹木など約 800 本を公園緑地に保全。また根株工法という復元緑化工法も実施し約 240 本の樹木を移植。約 21 種の貴重植物の現況保全や移植、ホタルの生育環境の整備として生息地の復元や人工飼育の実施など、現況地形や動植物を極力保全したまちの骨格を形成。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域環境資産の保全、緑のネットワークの形成、微気象緩和・暑熱緩和、生物多様性の確保、地域ブランディングの向上・地域特性の発揮、住民の地域への愛着 		

【八王子みなみ野シティ（東京都八王子）】

◎八王子みなみ野シティ

- 「アーバンビレッジ」をコンセプトに、趣味や地域に根ざした交流を行う「クラブライフ交流都市」、環境にやさしい街「環境共生都市」をテーマにまちづくりが進められ、周辺地域とのつながりを持つ谷戸空間などの地形や緑を地区内に保全し、まちの骨格としてまちづくりを実施。

◎様々な手法によるみどりの保全・再生・創出

- 本地区では、開発前の地形を極力活かしつつ、既存の樹木を保全し公園緑地を整備。
- 既存樹林を公園緑地として現況保全、機械移植・根株移植による樹木保全、表土保全、復元緑化、二次林の整備、記念樹の保全、貴重植物の保全、ホタルの生育環境の復元を実施。



樹林保全された宇津貫公園の森



樹木移植（機械移植）



移植されたヤマザクラ（宇津貫公園）



人力による根株移植



希少種の保全（タマノカンアオイ）



ホタルのための水路づくり

今後の活用
keyword

現況地形を極力活かした土地利用計画、機械移植、根株移植、表土保全、復元緑化、二次林の整備、記念樹の保全、貴重植物の保全、ホタルの生育環境の復元

大分類	a. 地域のつながりを確保するみどり	種別	団地再生
小分類	a-2) 緑・水・生態系ネットワークの形成		
課題	周辺地域との調和や環境に配慮した団地再生をしたい		
実施事項	地域の方々とのみどり・生物多様性・風の道などに配慮した団地再生計画作成に基づく整備		
概要	・団地の建て替えにあたって、地域の方々、地域の環境と調和した環境配慮について、グリーンインフラを団地再生コンセプトに、みどりを活かした団地再生を実践。		
導入効果	・緑のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、生物多様性の確保、みどりを活かした身近な生活環境の改善、身近な自然との親しみと交流（花壇や菜園）		

【シャレール荻窪（東京都杉並区荻窪）】

◎グリーンインフラをコンセプトにした環境配慮

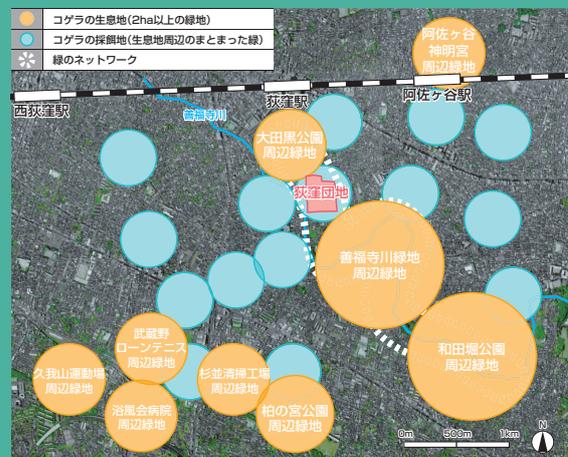
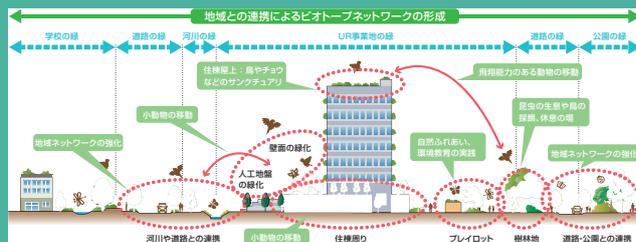
団地の建て替えにあたり、団地や周辺の方々と懇親会やワークショップを行い、地域環境と調和した荻窪らしさを活かした配慮を実現

- ① 緑のネットワークの形成：豊かな緑に囲まれたまち
 - ・既存樹木の保全・移植・再生（118本の高木を保全）
- ② 生物多様性の継承：生き物が集まるまち
 - ・野鳥のためのバードパスの設置、蝶が憩える樹木の保存
- ③ 風の通り道の確保：風が通り抜けるまち
 - ・善福寺川からの風が団地内に抜ける風の道に配慮した住棟配置
- ④ ヒートアイランド現象の緩和：涼しいまち
 - ・屋上緑化、植栽増加、保水性舗装等による暑熱緩和
- ⑤ 環境にやさしいライフスタイルの支援：自然に人がふれあえるまち
 - ・花壇や菜園の設置



◎コゲラモデルによるエコロジカルネットワークの形成調査の推進

・UR 都市機構では、エコロジカルネットワークの検討ツールとして、コゲラモデル（コゲラを指標種）による調査研究を進めている。コゲラが活動する樹林地とコゲラの飛翔範囲から対象地の生息環境を定量的に解析し、地区が持つ生態的な役割や、開発において生物多様性の回復に資する整備手法検討等への活用を目的としている。



今後の活用
keyword

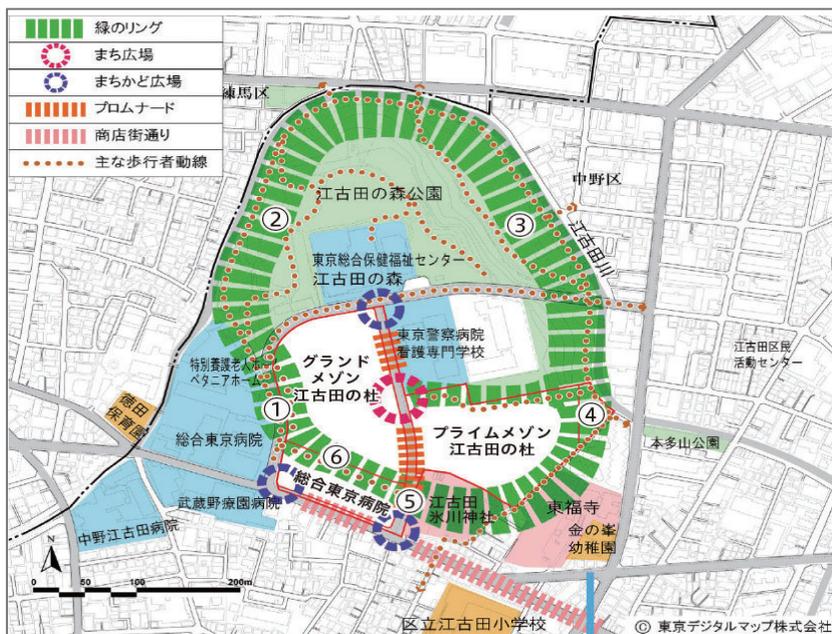
周辺地域のみどりのつながりを意識した団地再生、地域住民参加による環境配慮のコーディネート、樹木移植、バードパス、蝶が憩える木、風の道を確認する住棟配置、コゲラモデル

大分類	a. 地域のつながりを確保するみどり	種別	都市再生
小分類	a-2) 緑・水・生態系ネットワークの形成		
課題	周辺の自然環境と景観の継承に配慮したまちづくりをしたい		
実施事項	隣接する公園と連続した一体的な緑地帯の形成による自然環境と景観の継承		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 開発地外周部の豊かな樹林とのつながりを持つため、一体的な緑地帯（緑のリング）を形成する土地利用とした上で、既存樹木の保全や地域にあった在来種による植栽計画「5本の樹」を行った。また、緑の保全・拡充による微気象緩和などの環境負荷軽減にも配慮した。 さらに、緑の管理ガイドラインの策定により、緑の活用や持続的な維持管理を推進。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域環境遺産の保全、緑のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、生物多様性の確保、地域ブランディングの向上・地域特性の発揮、緑を活かした良質な街路・緑道空間の形成 		

【江古田の杜（東京都中野区）】

◎緑のリングの形成

- 既存樹木や動植物の保全方針と保全活用計画をとりまとめた「自然環境保全計画書」を策定
- 既存樹木の保全活用、既存種の活用、隣接する江古田の森公園や江古田川との一体的な緑地帯の形成
- 保全された緑の保全管理方策として、「緑の管理ガイドライン」を策定



緑のリング計画図



既存のユリノキの保全



公園（公共空間）
民有緑地

江古田の森公園（公共用地）と集合住宅の緑地（民有緑地）の一体化

◎「まちづくりガイドライン」の策定

- 「多世代により育まれる持続可能な地域をつくる」をコンセプトに、緑 / 防災 / 多世代・子育て / 健康・スポーツの4つのテーマで「世帯の循環」のまちづくりを実現。

◎防災機能の向上

- 江古田の森公園一帯は、広域避難所に指定されており、地区内の避難路として機能し、コミュニティの場としてのゆりのき広場とエリアマネジメント拠点となるリブインラボは、災害時の活動拠点としても機能。

◎エリアマネジメントの形成

- エリアマネジメントの拠点となる、地域リビング（リブインラボ）を整備し、地域コミュニティの形成を推進。

今後の活用
keyword

自然環境保全計画、地区内外のみどりと一体的な緑地帯形成、民有緑地とつながりのある公園整備、まちづくりガイドライン、緑の管理ガイドライン、在来種による植栽計画「5本の樹」

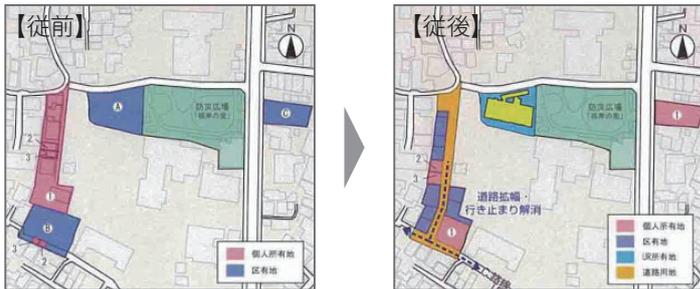
大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	b-1) 地震等に対する防災・減災		
課題	狭小敷地・行き止まり道路での憩いの場ともなる避難路の確保		
実施事項	行政用地活用や集合住宅のセットバックによる連続的な避難路兼みどりのネットワークを整備		
概要	・密集市街地の道路拡幅と行き止まり解消を目的に、従前居住者用集合住宅を行政用地に建設し、道路拡幅と行き止まりを解消。道路の交差部にみどりを活かした憩いの場ともなるポケットパークと町会防災倉庫を設置、これら用地を道路空間で束ね、防災広場（既設）への避難路ネットワークを確保。		
導入効果	・密集市街地の防災性の向上、みどりを活かした身近な生活環境の改善、住民等の憩いや活動の場の提供、微気象緩和・暑熱緩和		

【根岸三丁目地区（東京都台東区）】

◎避難路ネットワークの確保<路地のような集合住宅敷地、辻広場のような道路、道路が生活の庭>

- ・行政用地に従前居住者用集合住宅を建設し、道路拡幅と行き止まり解消を実現。
- ・集合住宅のセットバック空間に路地のような植栽とベンチを置くなどして小広場を形成。→A
- ・拡幅道路用地の交差部に辻広場のようなポケットパークと町会防災倉庫を設置。→B
- ・ABの空間を道路空間で束ね、防災広場（既設）への避難路ネットワークを確保。

極端に少ない空間を束ね、まちの「安全・安心」と「快適性・景観」を最大化すると共に、空間の重層的な利用により人の活動を最大化。



防災公園入り口と歩行者専用道路



屋上緑化と風の道を計画した従前居住者用住宅と対象地全体



A 路地をイメージした集合住宅のセットバック



B 拡幅道路沿いのポケットパークと防災倉庫

今後の活用 keyword 限られた敷地空間を束ねた連続的な避難路ネットワークの確保、路地のような集合住宅敷地、辻広場のような道路、生活の庭となる道路

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	b-1) 地震等に対する防災・減災		
課題	密集市街地における防災性の向上と居住環境の向上の両立		
実施事項	みどりを活かした居住環境の向上にも資する防災拠点や避難路の整備		
概要	・狭隘道路や行き止まり道路が多い、老朽化した木造密集地域において、避難路となる道路の拡幅や避難拠点の整備による防災性の向上とともに、既存樹木を保全した緑豊かな広場、建物の屋上や壁面の緑化による居住環境の向上を図った。		
導入効果	・密集市街地の防災性の向上、みどりを活かした身近な生活環境の改善、住民等の憩いや活動の場の提供、微気象緩和・暑熱緩和		

【世田谷ティーズヒル（東京都世田谷区）】

◎三軒茶屋地区

- ・本地区は、狭隘道路や行き止まり道路が多く、老朽化した木造住宅が密集しているなどの課題があった。大学移転に伴う跡地を活用し、防災性や住環境の向上に資する良質な住宅供給（世田谷ティーズヒル）とともに、避難路ともなる周辺道路整備網の整備を実施した。
- ・防災拠点となる広場では、井戸やかまどベンチ、仮設トイレを整備し、周辺には防火水槽を整備。



拡幅され歩道が付いた外周道路



世田谷ティーズヒル内の通り抜け道路



世田谷ティーズヒル（UR 賃貸、分譲、生活支援施設）



防災広場（一時避難所）

今後の活用
keyword

密集市街地等における防災性能の向上とみどりを活かした居住環境向上の両立、建物の屋上緑化や壁面緑化、既存樹木を活かした広場整備

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	b-1) 地震等に対する防災・減災		
課題	密集市街地における地域の魅力向上に資する防災性能の強化		
実施事項	みどりを活かした日常的に多目的利用が可能な防災公園及び周辺道路の拡幅整備等		
概要	・密集市街地内の大学跡地を防災公園に転換するとともに、周辺の狭隘な道路の拡幅や建物内での避難路の確保など周辺市街地の防災機能の向上を図った。あわせて集合住宅、福祉施設の整備など、福祉・子育てのまちづくりを実現。		
導入効果	・密集市街地の防災性の向上、緑を活かした良質な街路空間の形成、みどりを活かした身近な生活環境の改善、住民等の憩いや活動の場の提供、地域コミュニティ形成への寄与		

【西ヶ原四丁目地区（東京都北区西ヶ原）】

◎西ヶ原みんなの公園（防災公園 2.2ha）

- ・地域の防災性を向上させる防災公園整備にあたり、地元住民等による協議会を開催し、防災性の向上だけでなく、日常の住環境の向上に多くの意見があり、それらを取り込むことで早期合意形成による整備を実現。



整備前の外周道路



整備後のコミュニティ道路



避難広場と防火樹林帯



かまどベンチを使用した炊き出し訓練



避難広場への公開通路（集合住宅内）



避難広場への公開通路（福祉施設内）

◎公園の主な防災施設

- ・芝生広場（避難スペース）
- ・管理事務所・防災倉庫
- ・災害用井戸（飲料水用）
- ・防火水槽（100t、40t 各 1 基）
- ・災害用トイレ 54 基
- ・物資集積所（防災パーゴラ）
- ・太陽光発電付照明灯 8 基
- ・防火樹林帯
- ・防災サイン、かまどベンチ

今後の活用
keyword

防災公園街区整備事業による周辺を含めた防災性の向上、住民参加型の防災公園づくりによる円滑な合意形成、既存のみどりの防災まちづくりへの活用（防火樹林帯）

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	b-1) 地震等に対する防災・減災		
課題	周辺環境との調和や個性豊かな景観形成をふまえた防災性能の強化		
実施事項	区と民間事業者と連携した防災公園と市街地の一体整備		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 区と連携して周辺市街地の防災性向上に資する基本計画を作成。その上で地域の防災拠点となる公園は住民の意見により日常利用もふまえた整備を行い、市街地整備では防災公園につながる避難路ともなるプロムナード整備・建物デザイン・植栽・色彩計画について事業者間との調整を図り、周辺景観と調和した個性豊かな景観形成を実現。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災性の向上、微気象緩和、暑熱緩和、地区のまとまりある良好な街なみ景観形成、公園広場等の十分なオープンスペースの確保、住民等の憩いや活動の場の提供 		

【桃井三丁目地区（東京都杉並区）】

◎桃井原っぱ公園（防災公園）

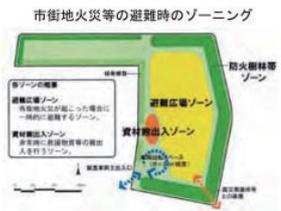
- 防災公園の整備にあたって、区との協議とともに、住民参加の幅広い意見をふまえ、施設を極力控えた整備とし、平常時の施設として芝生広場、水の流れ（水景）、休憩施設、管理事務所を備える。



市街地と防災公園の全体平面図

◎防災施設

- ・かまどベンチ、かまどスツール
- ・防災用トイレ
- ・備蓄倉庫
- ・ソーラー照明
- ・ヘリポート
- ・防火樹林帯



救援活動を行う場合のゾーニング（概ね発災後2日目以降）



防災公園平面図と利用ゾーニング（住民参加の様子含む）



今後の活用
keyword

防災公園街区整備事業による周辺を含めた防災性の向上、防災性能の向上と良好な住環境の提供、参加型の防災公園整備、事業者間連携による避難路整備のコーディネート

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	震災復興
小分類	b-2) 治水対策（洪水、津波、集中豪雨等）		
課題	住民の想いや景観に配慮した津波対策		
実施事項	みどりを活かした津波防災緑地の住民参加型の整備		
概要	・津波から市街地を守る多重防潮堤整備では、通常の防潮堤に加え、防災緑地として緑の防潮堤を整備した。整備にあたっては高台住宅地の造成で伐採される樹木の遺伝子を残したいという住民の想いを出発点に、どんぐりから育てた苗木を住民参加で植栽した。		
導入効果	・（日常景観にも配慮した）津波被害の軽減、緑のネットワーク形成、身近な自然との親しみ・交流、地域コミュニティ形成への寄与、住民の地域への愛着向上		

【薄磯地区（福島県いわき市）】

◎緑の防潮堤（防災緑地）

- ・本地区は、東日本大震災により最高高さ8.5mの津波に襲われ、甚大な被害を受けた。
- ・地域の豊かな自然を極力復元するため、地区内に自生する木を残せるよう樹木の苗を採取する「苗木採取プロジェクト」とともに、地元住民の想いを受け里山のどんぐりを拾い苗木に育てる「どんぐりプロジェクト」を実施したうえで、その苗を緑の防潮堤（防災緑地）に住民参加で植栽した。
- ・多様な主体が協働で地域環境とコミュニティの再生に取り組んでいる点が評価され、2018年10月、第38回緑の都市賞を受賞。



緑の防潮堤（防災緑地）



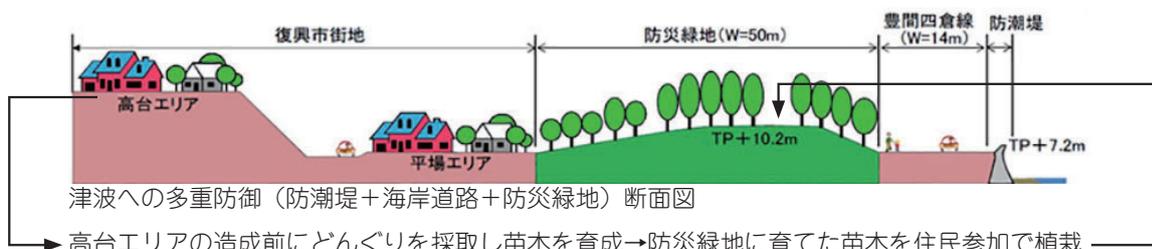
緑の防潮堤の案内板



緑の防潮堤



住民参加型による緑の防潮堤に植栽



今後の活用
keyword

緑の防潮堤（防災緑地）、市民参加によるみどりの防潮堤整備、防災性の向上と地域の想いの実現の両立、みどりを活かした地域の愛着づくり

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	新市街地
小分類	b-2) 治水対策（洪水、津波、集中豪雨等）		
課題	公共用地の削減のため、調整池を設置しない雨水流出抑制対策		
実施事項	公園の広場等に雨水貯留機能を持たせ、豊かなみどり環境の整備		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 限られた公共用地を効率的・効果的に活用しつつ、豊かな自然環境整備を行うため、公園内に雨水貯留機能を設置。日常的には、市民の憩いの場や生物生息空間となる水辺空間を創出。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 都市型浸水被害の軽減（雨水浸透・貯留等）、良質な滞留空間（公園・広場等）の形成、公共用地率の削減と環境配慮等の両立、微気象緩和、暑熱緩和、生物生息空間の確保 		

【港北ニュータウン（横浜市都筑区）】

◎鴨池公園（近隣公園）

- 総合治水対策として各公共公益施設等で雨水貯留施設を設置。近隣公園以上の都市公園の一部では、広場部分で最大水深 30cm、水面部分で最大水深 50cm、最大滞水時間を降雨終了後 24 時間と設定し、公園内での雨水貯留を実施。（オンサイト貯留方式）



芝生広場で深さ 30cm の雨水貯留



公園の池で深さ 50cm の雨水貯留



鴨池公園 航空写真（港北）

今後の活用
keyword

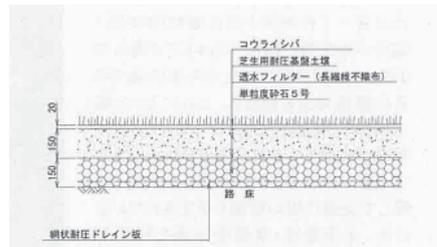
みどりを活かした都心型水害対策、調整池の公園的利用、公共用地削減と雨水貯留の両立

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	b-2) 治水対策（洪水、津波、集中豪雨等）		
課題	日常的な活用を行う土地利用上での雨水流出抑制対策		
実施事項	透水性と保水性を合わせもつ耐圧基盤による芝生広場の整備		
概要	・防災公園内で、総合雨水流出抑制を行うため、芝生広場、エントランス広場、園路舗装等で雨水貯留を図った。芝生広場は透水性と保水性を併せ持つ耐圧基盤を備えることで、日常的な人の活動や憩いの場の提供とともに、避難広場を両立させた。		
導入効果	・地域の防災性の向上（避難場所）、都市型浸水被害の軽減治水対策（豪雨災害対策）、住民等の憩いや活動の場の提供、微気象緩和・暑熱緩和		

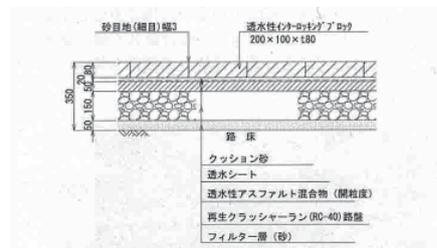
【さいたま新都心公園（さいたま市大宮区）】

◎さいたま新都心公園（防災公園）

- ・本公園は、地震等における避難場所であるとともに、都市型水害時においても雨水流出抑制機能を果たすため、さいたま市総合雨水流出抑制指針に基づき、約 630㎡の雨水貯留を実施。芝生広場は、公園敷地 1ha に対し約 4,000㎡を有し、人々の活動や憩いの場とともに、避難広場や暑熱緩和機能を果たす。



芝生広場の基盤に雨水貯留浸透機能付き植栽基盤材を設置



にぎわい広場の透水性インターロッキングブロック舗装と防災パーゴラ



さいたま新都心公園平面図

今後の活用
keyword

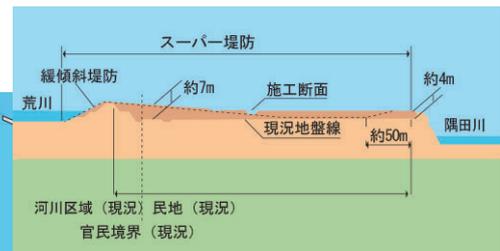
都市型水害対策と地震時等での避難広場の両立、雨水貯留浸透機能付き植栽基盤

大分類	b. 災害に強いまちづくりのためのみどり	種別	団地整備
小分類	b-2) 治水対策（洪水、津波、集中豪雨等）		
課題	洪水や地震に強い治水対策と水辺を感じる生活環境の両立		
実施事項	グリーンインフラ(スーパー堤防)による治水対策と潤いある水辺環境の創出		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 緩斜面堤防と川岸一帯の地盤を幅広く高くしたスーパー堤防により、河川に向かって緑の緩やかな斜面が続く、開放感ある水辺空間を実現。地区内は河川に面した公園配置や住棟内に風を取り入れる緑の小道の整備とともに、環境共生都市を目指して、小さな森のような樹林「ボスケ」や雨水を利用した「バードバス」、住棟や駐車場に屋上緑化を実施。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 河川水害の軽減、みどりを活かした身近な生活環境の改善、水と緑のネットワークの形成、生物多様性の確保、微気象緩和・暑熱緩和、地区で一体となった環境配慮 		

【ハートアイランド SHINDEN（東京都足立区）】

◎水と緑を活かしたまちづくり計画

- 荒川と隅田川に囲まれた約 20.0ha の土地に、国・都・足立区とともに UR 都市機構が約 3,000 戸のまちを整備。スーパー堤防と一体的なまちづくりにより開放感のある水と緑の環境を活かした「景観軸」「景観拠点」づくり、環境共生型まちづくり、川を導く「風環境設計」を実施。
- 自然環境と調和するデザインコンセプトとして、「魅力的な川の手景観を生み出す」「川と街を結ぶ」「都市的街並みをつくる」「風環境を活かす」の4つを掲げた。
- UR 賃貸住宅初の環境共生住宅団地の認定。



河川沿いの遊歩道



小さな森のような樹林「ボスケ」



雨水を利用した野鳥を招く「バードバス」

今後の活用
keyword

河川治水対策と緑や水辺を感じられるまちづくりの両立（スーパー堤防）、環境共生住宅団地の実施手法、風環境を活かす住棟配置

大分類	c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	c-1) 魅力ある都市空間形成（環境配慮、景観等） 2) 投資や人材の呼び込み、資産価値向上		
課題	利用や景観向上のため公園や公共建物施設を一体的な空間としたい		
実施事項	公共街区と民間街区の土地交換によるまとまりあるオープンスペースの確保		
概要	・公共街区と民間街区を再配置することで、公園等の緑空間と水辺空間、及び体育館等の公共建物施設を一体的に束ね、各空間をシームレスに一体化させ、広大なオープンスペースを創出。地区全体と駅をバリアフリーの歩行者空間でネットワーク化。		
導入効果	・地区のまとまりある良好な街なみ景観形成、公園広場等の十分なオープンスペースの確保、資産価値の向上・不動産価値の上昇、地域ブランディングの向上、地域特性の発揮		

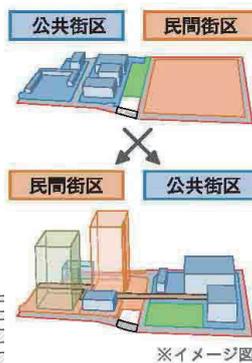
【田町駅東口北地区（東京都港区）】

◎田町駅東口北地区のまちづくり

- ・「田町東口北地区街づくりビジョン（港区）」に基づき、公民連携による多様な都市機能を集積し、地域の生活インフラとなる総合支所、スポーツセンター、病院、公園といった施設をバリアフリーの歩行者デッキでつないだ街づくり。
- ・環境モデル都市づくりのリーディングプロジェクトとして、敷地内の緑化、地域冷暖房施設、スマートエネルギーネットワークの構築により、環境負荷の低いまちづくりを実現。

◎空間を「束ねる」ことによる、まとまりあるオープンスペースの創出

- ・公共街区と民間街区の再配置によりオープンスペースを束ねるとともに、水とみどりのつながりを確保。



芝浦公園と地区内の歩行者デッキ



公園と歩道の一体的な整備



今後の活用
keyword

公共街区と民間街区の再配置によりオープンスペースの一体化、環境モデル都市としての建物敷地及び建物緑化、歩行者ネットワークによるつながりの確保

大分類	c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	c-1) 魅力ある都市空間形成（環境配慮、景観等） 2) 投資や人材の呼び込み、資産価値向上		
課題	多様な主体（関係者）が共有できるまちづくりコンセプトを打ち出したい		
実施事項	他地区との差別化を図るみどりを活かした共感型デザインコンセプトの創出と運用		
概要	・周辺地域のみどり豊かな環境との関係性から、歴史やみどりとのつながりに配慮した緑の多様な機能を活かすことを関係者で共有する「共感型デザインコンセプト」として、「GREEN3.0」を掲げ、多様な主体が一体となってまちづくりを推進。		
導入効果	・地区で一体となった環境配慮（多様な主体の連携）、緑のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、資産価値の向上・不動産価値の上昇、良質な滞留空間（公園・広場等）の形成、防災性の向上、民間投資や人材の呼び込み、職場環境の改善（バイオフィリックデザイン）		

【コモレ四谷（東京都新宿区四谷）】

・防災性の高い広場空間が不足している地域で、遊休地化した公有地を活用し、幅員の狭い地区道路や歩行者専用道路、緊急時の避難路や防災性の高い広場の不足を解消するとともに、みどりを活かした事業関係者が共有して打ち出せる共感型コンセプトを掲げ、まちづくりを推進。防災拠点機能を有するコモレビの広場、商業施設、住宅、教育施設、オフィスを兼ね備える地区として、歴史性の高い地域のみどりと連携する立体的・有機的なデザインにより地域価値向上を図っている。



みどりを活かした共感型コンセプト
(他エリアとの差別化)



全体平面図



周辺のみどり豊かな環境に囲まれた対象地



建物緑化とオフィス棟

今後の活用
keyword

地域における関係者や住民と共有・共感を得られるキーワード形成・ブランディング、周辺地域と連携した環境形成、多様なみどりの機能の活用、地域歴史文化の継承（せせらぎ）

大分類	c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	c-1) 魅力ある都市空間形成（環境配慮、景観等） 2) 投資や人材の呼び込み、資産価値向上		
課題	事業者間で一体となって景観形成と環境配慮を行いたい		
実施事項	デザインガイドラインと環境配慮ガイドラインによる一体的な景観形成や環境配慮を実施		
概要	・地区の都市再生ビジョンの戦略を実現するため、各事業者が共通認識をもって効果的に環境配慮に取り組みめるように、「環境配慮ガイドライン」を自主ルールとして作成した。また、その具体的方策の手引きとして「環境配慮マニュアル」をとりまとめ、各事業者が実践。		
導入効果	・地区で一体となった環境配慮（多様な主体の連携）、地域ブランディングの向上・地域特性の発揮、地区のまとまりある良好な街なみ景観形成、みどりを活かしたイベントや活動等の賑わい向上、地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）、微気象緩和・暑熱緩和		

【大崎駅周辺地域（東京都品川区大崎）】

◎大崎駅周辺地域 都市再生ビジョン

・平成14年7月に都市再生緊急整備地域に指定され、組織された「まちづくり連絡会」によって、将来市街地像を共有し、民間の創意工夫を活かした都市再生を戦略的に進めることを目的に策定。



◎デザインガイドラインの策定

・都市再生ビジョンの戦略3「個性的な景観づくり」の実現方策として、個別開発計画と地域全体の景観形成の調和を図るために策定。

◎環境配慮ガイドライン

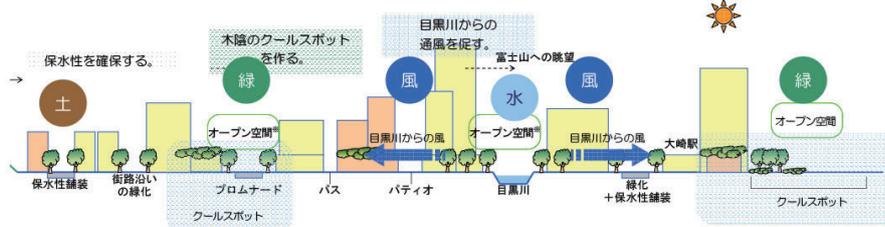
・都市再生ビジョンの戦略4「目黒川を環境資源と活用する」の実現方策として、各事業者が環境配慮に取り組みめるように、「環境配慮ガイドライン」を作成。また、その具体的方策の手引きとして「環境配慮マニュアル」を作成し、各事業者等による暑熱緩和や省資源・省エネ等の環境配慮を実践。

環境配慮の基本方針		環境配慮項目
水と緑と風のネットワークの形成	その1 被覆表面の温度を下げる	①まとまった緑地の確保 ・公開空地・外構の緑化 ・人工地盤等、建物の緑化 ②目黒川沿い・道路・歩行者空間の緑化 ③道路等の熱環境改善のための舗装材の採用 ④壁面等からの放射熱の抑制に配慮した外装材の採用
	その2 地域内を通り抜ける風のみちを確保する	⑤建物の形状・配置の工夫 ⑥風の通り抜けを促す道路・街路の配置
省資源・省エネルギー他	その3 建物から排出される人工排熱を抑制する	⑦建物の熱負荷抑制 ⑧自然エネルギー利用 ⑨設備システムの高効率化 ⑩効率的運用
	その4 省資源とエコマテリアルの使用に配慮する	⑪水資源保護に配慮する ⑫低環境負荷材料の使用に配慮する



環境配慮ガイドラインの概要

大崎駅周辺地域における水と緑と風のネットワーク図



水と緑と風のネットワークのイメージ図



目黒川沿いの緑道

今後の活用
keyword

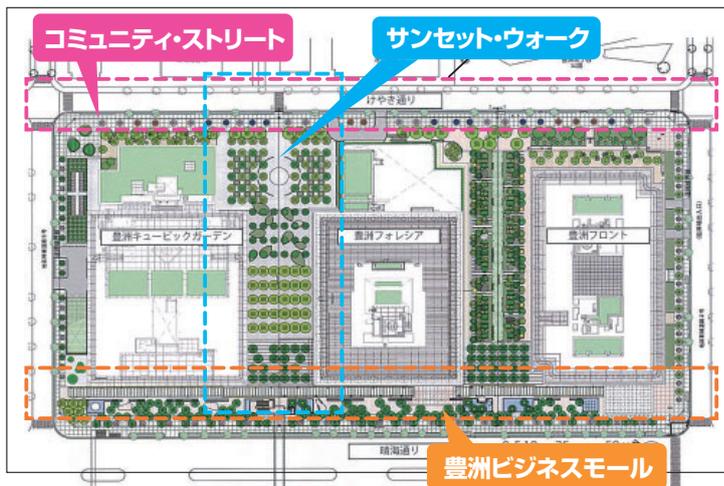
デザインガイドラインによる事業者間の景観誘導、環境配慮ガイドライン及び環境配慮マニュアルによる事業者間の環境配慮の誘導、民間の創意工夫を活かした都市再生

大分類	c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	c-1) 魅力ある都市空間形成（環境配慮、景観等） 2) 投資や人材の呼び込み、資産価値向上		
課題	様々な事業者が混在した地区でまとまりあるランドスケープを形成したい		
実施事項	まちづくりガイドライン作成・運用による、一体的なみどりのまちづくりの誘導		
概要	・事業主体や設計・工事工期が3つの異なる事業が別々に動いていた地区において、まちづくり協議会を立ち上げ、「まちづくりガイドライン」の策定とその運用により、一体性のある質の高い空間形成、河川からの建物角度による風の道を形成、街区全体で緑化率 40%を確保を実現。		
導入効果	・地区のまとまりある良好な街なみ景観形成、地区で一体となった環境配慮（緑化率 40%以上の確保）、住民等の憩いや活動の場の提供、防災性向上、微気象緩和・暑熱緩和、地域ブランディングの向上・地域特性の発揮、みどりを活かしたエリアマネジメントの構築		

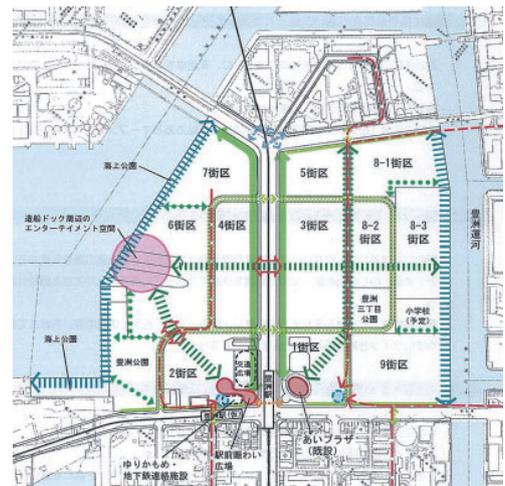
【豊洲三丁目 3 街区地区（東京都江東区）】

◎豊洲三丁目 3 街区地区の整備

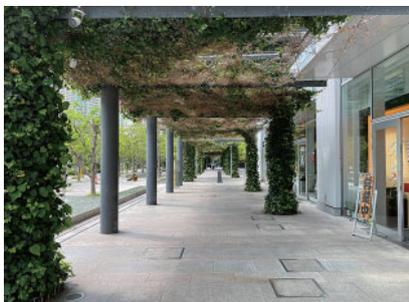
- ・具体的な空間や緑化整備として、屋根付き緑化パーゴラ、水景施設、壁面緑化、街路空間形成、官民連携による歩行空間整備を実施。また、まちづくり協議会がエリアマネジメントを推進し、地区内広場・通路の清掃のほか、地区内のビル管理、地域の安全・防災対策の強化などを一元的に実施。
- ・事業完了後は、まちづくり協議会がエリアマネジメントを推進し、地区内広場・通路の清掃のほか、地区内のビルの管理、地域の安全・防災対策の強化などを一元的に行っている。



豊洲三丁目 3 街区 平面図



豊洲 2・3 丁目地区ネットワーク図



晴海通り沿いは 3 棟の建物外壁線を揃え、地域のシンボルとなる「ビジネスコリドー」として整備（豊洲ビジネスモール）



建物間は、外壁を互いに 15 m セットバックし、両街区がシンメトリーなデザインを行い、一体的な緑の空間を創出（サンセット・ウォーク）



外に開かれたカフェレストランによるヒューマンスケールの賑わいや一体的な緑化に配慮した空間を創出（コミュニティ・ストリート）

今後の活用
keyword

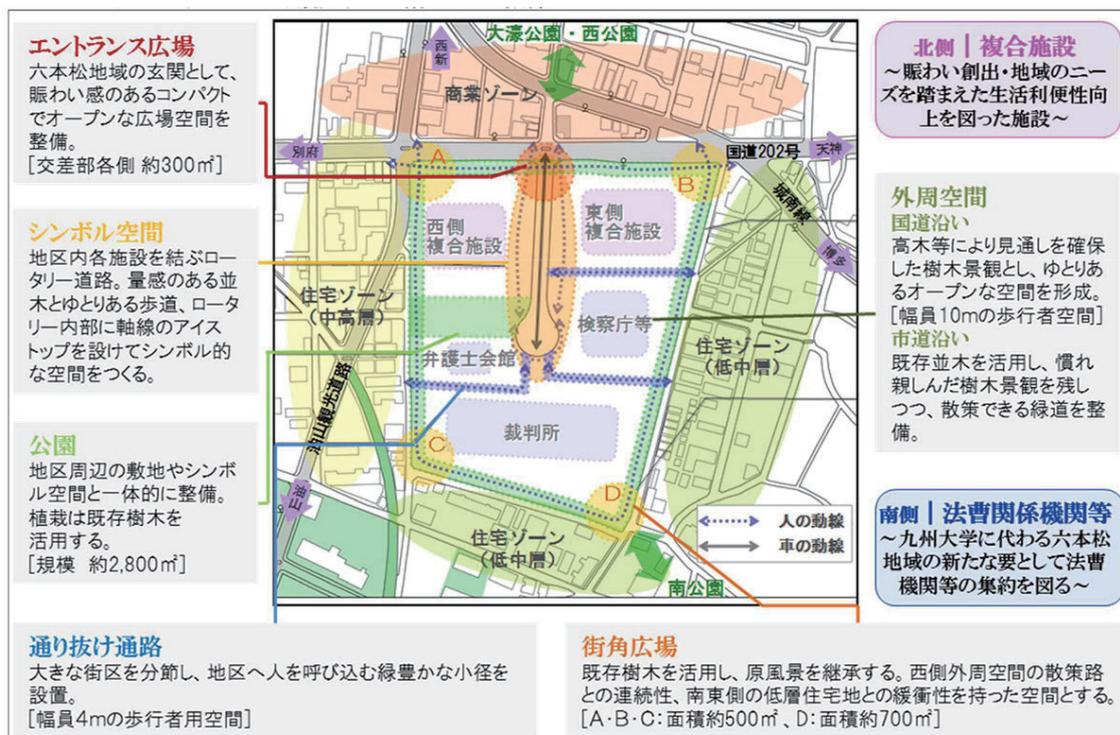
まちづくりガイドラインにより複数事業者間でのまとまりある景観形成誘導、多様な緑化施設や緑化空間の連続的な形成（屋根付き緑化パーゴラ、水景施設、壁面緑化等）、風の道の形成

大分類	c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり	種別	都市再生
小分類	c-1) 魅力ある都市空間形成（環境配慮、景観等） 2) 投資や人材の呼び込み、資産価値向上		
課題	既存の緑を極力活かし、良質な環境を伴う都市機能の集約		
実施事項	まちづくりガイドライン作成・運用による、既存の面影を残すみどりのまちづくり誘導		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大学移転の跡地を活用し、法曹機関の再配置による都市機能の集約し、商業ゾーンと住宅ゾーンが一体となったまちづくりを行うにあたり、まちづくりガイドラインを作成し、既存の樹木を極力保全しながら、緑豊かな環境形成を行う方針とともに各事業者間での緑地整備や緑化などを誘導し、みどり豊かな街なみを実現した。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地区のまとまりある良好な街なみ景観形成、地域環境資産の保全活用、地区で一体となった環境配慮（緑化率3割の確保）、緑を活かした良質な街路空間の形成、微気象緩和・暑熱緩和 		

【九州大学六本松跡地地区（福岡県福岡市）】

◎九州大学六本松跡地地区のまちづくり

- ・本地区は、市内に点在していた裁判所・弁護士会館・検察庁・保護観察所等の法曹関連の移転集約化を核としたまちづくりを実施。
- ・関係者間で協定による協働の体制づくりを構築した上で「まちづくりガイドライン」を策定し、既存のみどりを極力保全した基盤（道路・公園等）の整備を実施。また、関係者間で「青陵の街・六本松地区協議会」を設立し、「デザインガイドライン」を策定。既存の記憶を継承した基盤整備と民間事業者の誘導により、文教のまちの歴史を継承した街なみ形成を実現。



まちづくりガイドラインに規定する整備ルール（抜粋）
（九大レガシーを継承した良好な景観形成をめざし、様々な取り組みを実施）

- その他事項として、
- ・各事業者は広場等と連続した緑地を整備
 - ・緑地と広場の面積の合計が地区全体面積の約3割、緑化率約3割
 - ・平面駐車場の緑化誘導 など

今後の活用 keyword まちづくりガイドラインによる地域のみどりを極力継承した基盤整備と民間事業者誘導、緑地と広場の面積を全体の3割確保、緑化率約3割確保、文教のまちの歴史を継承したまち

大分類	c. 高質で魅力あるまちづくりのためのみどり	種別	新市街地
小分類	c-1) 魅力ある都市空間形成（環境配慮、景観等） 2) 投資や人材の呼び込み、資産価値向上		
課題	治水対策としての調節池をまちの特性として展開したい		
実施事項	レイクタウンとして水辺を活かしたまちづくりの展開		
概要	・治水対策を目的とする防災調節池をまちの特性として捉え、水辺を生かした水郷風景、いきもの豊かな湖畔林、土手の桜並木等といった環境整備とともに、ディンギー体験、水辺での語り、レイクサイドウォーキング等といった水と親しむライフスタイルを提案		
導入効果	・水と緑のネットワーク形成、生物多様性の確保、地域ブランディングの向上・地域特性の発揮、民間投資や人材の呼び込み、資産価値の向上・不動産価値の上昇、微気象緩和・暑熱緩和、住民等の憩いや活動の場の提供、身近な自然との親しみ・交流、河川水害の軽減		

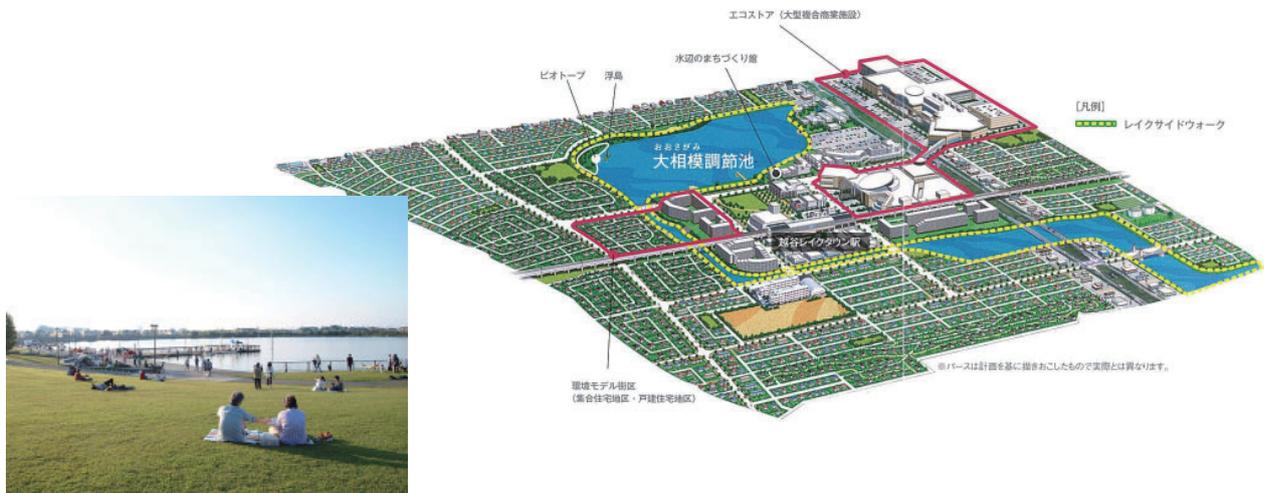
【越谷レイクタウン（埼玉県越谷市）】

◎水辺空間と都市空間の融合をめざした一体事業

- ・「親水文化創造都市」を基本理念として、広大な防災調節池を中心したまちづくりを推進。
- ・公園等による雨水浸透及び調節池の貯留機能（約 120 万㎡）による浸水被害を低減。

◎環境共生のまちづくり「環境共生先導都市」

- ・環境共生のまちづくりを先導する街区として、環境共生モデル街区と設定し、面的な環境配慮を誘導。（風・緑・太陽光などの自然エネルギーの活用、涼しい風を家に取り込む工夫、最新環境技術の導入等）



居心地のよい芝生の緩傾斜護岸



様々な使い方ができる芝生の緩傾斜護岸



市民がウォータースポーツを楽しむ



市民の散歩コースのレイクサイドウォーク

今後の活用
keyword

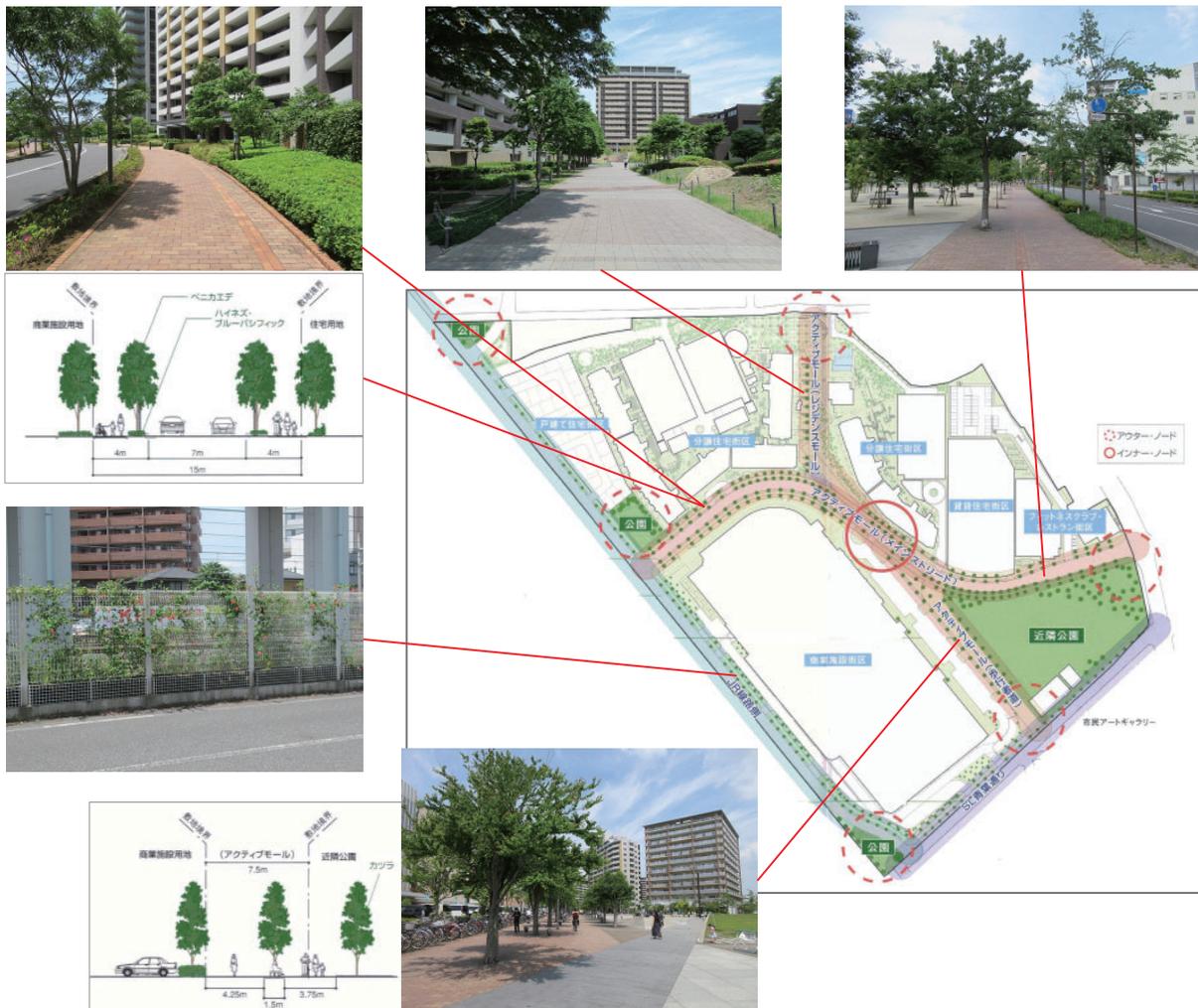
水辺を活かした多様な空間形成（水郷風景、緩斜面芝生広場、湖畔林、ビオトープ空間、土手の桜並木、レイクサイドウォーク、ウォータースポーツ利用の場等）、環境共生モデル地区（自然エネルギーの活用、風の道、その他環境技術の導入）

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-1) みどりによる快適な高質空間形成		
課題	まち歩きが楽しい街路空間を創出したい		
実施事項	ランドスケープの一体的な監修による質の高い街路景観整備に向けた官民連携誘導		
概要	<p>・従来の地域イメージを変える新しい街の整備にあたって、住宅や商業施設などのまちの機能の充実とともに、「まち歩きが楽しい都心空間の実現」を目指して、地区の一体的なランドスケープの監修により、地区のみどりの骨格づくり計画。官民連携による具体的な街路空間整備や鉄道敷の景観整備を実施。</p>		
導入効果	<p>・緑を活かした良質な街路空間の形成、不動産価値の上昇、微気象緩和・暑熱緩和、防災性の向上、住民等の憩いや活動の場の提供、みどりを活かした身近な生活環境の改善</p>		

【リボンシティ（埼玉県川口市）】

◎リボンシティのまちづくり

- ・広大なビール工場跡地を、従来のイメージを変える「リボンシティ」として整備。集合及び戸建ての住宅地の他約 100 店舗の専門店やシネマコンプレックスを有する商業施設、1.0ha のアートと市民の憩いの場となる近隣公園等を兼ね備えた、官民連携によるまちづくりを実現。
- ・ランドスケープデザインは、まちづくりコンセプト「まち歩きが楽しい都心空間の実現」の指針となるものとして、一体的な監修による、官民連携のまとまりある景観形成を実現。



今後の活用
keyword

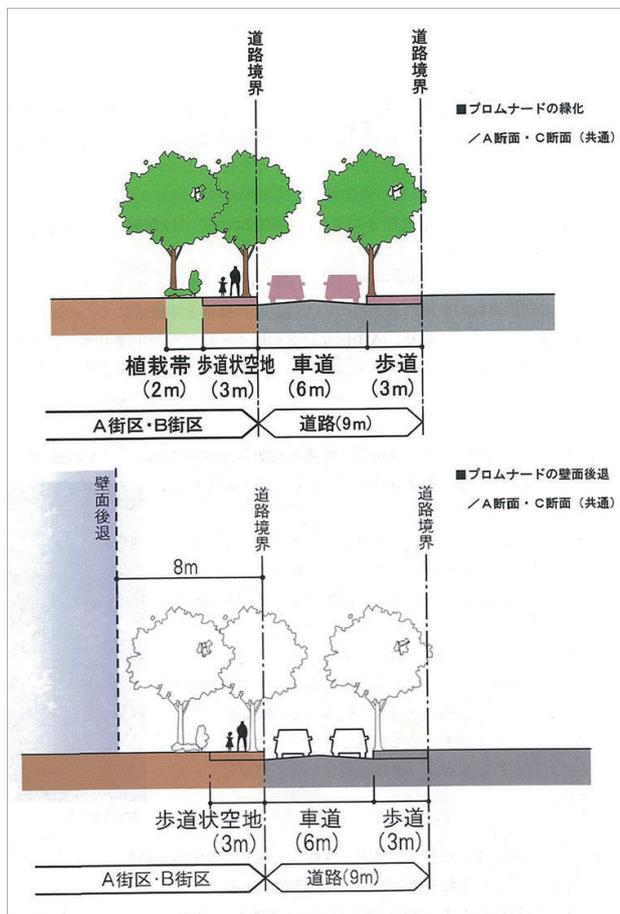
道路・民有地と一体となった街路空間の形成、官民連携のまとまりある景観形成の監修

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-1) みどりによる快適な高質空間形成		
課題	周辺のみどりとつながる避難路ともなる豊かな歩道空間を確保したい		
実施事項	沿道の民有地との連携によるみどり豊かな広幅員歩道の整備		
概要	・地区の中心部に避難路ともなる良好な緑景観を有する広幅員の歩道を確保するため、公共空間（道路）と民間空間（集合住宅等）が一体となった歩道の広い並木道を形成。		
導入効果	・緑を活かした良質な街路空間の形成、みどりを活かした身近な生活環境の改善、緑のネットワーク形成、防災性の向上、不動産価値の向上、微気象緩和・暑熱緩和、地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）		

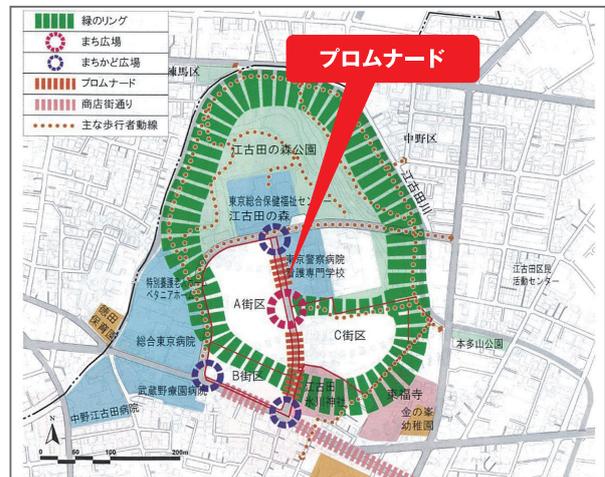
【江古田の杜（東京都練馬区江古田）】

◎官民連携によるみどり豊かな街路空間形成

・幅員 9.0 m の道路空間では、通常車道 6m- 両側歩道 1.5 m の街路樹のない道路となるところを、沿道の民有地のセットバックにより、両側に街路樹のあるみどり豊かな並木道を実現。



道路の街路樹と民間セットバック空間の街路樹・植栽帯の一体化



官民連携による街路空間や緑地の確保

今後の活用
keyword

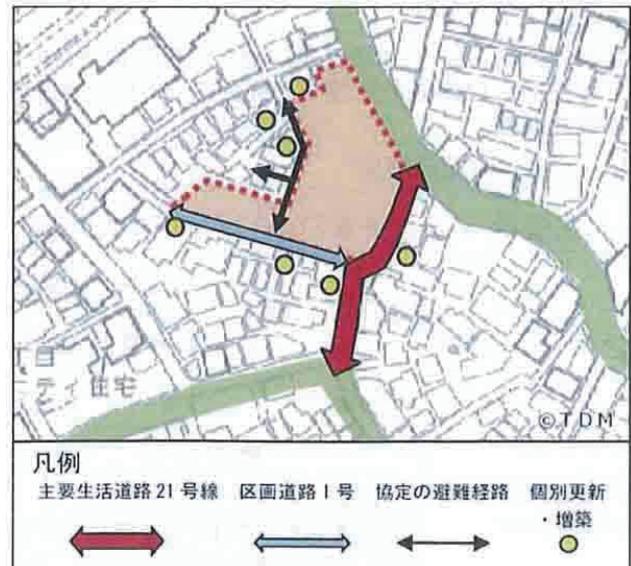
周辺みどり環境と連続的な街路空間の整備、官民連携によるみどり豊かな街路空間の創出

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-1) みどりによる快適な高質空間形成		
課題	防災性の向上とともに、日常での快適性の向上の両立		
実施事項	みどりの機能を活かし防災施設建築物や建物外周部の緑化、建物の分棟化による風の道の確保		
概要	・密集市街地での防災性向上に資する整備とともに、日常的における快適な生活環境を確保するため、防災施設建築物の屋上緑化や建物外周部の緑化、建物を分棟化することによる風の道の確保を行った。		
導入効果	・みどりを活かした身近な生活環境の改善、微気象緩和・暑熱緩和、防災性の向上		

【京島三丁目地区（東京都墨田区京島三丁目）】

◎京島三丁目地区

- ・借地・借家の老朽化長屋・木造住宅が密集し、震災発生時には倒壊・延焼の危険性が高く、道路が狭くネットワーク化されていないため、災害時の避難及び緊急車両の侵入が困難な状況であった。そこで、防災街区整備事業を活用し、道路の拡幅整備と併せた防災施設建築物等を整備し、不燃化を促進することにより防災性の向上を図った。
- ・日常的なまちの快適性の確保として、木造密集市街地の防災施設建築物に、「屋上緑化」「敷地周囲の緑化」「建築物を分棟化」することにより風の通り道を確保するなどの対策を行い、暑熱緩和を実現。



道路ネットワークの形成



建物を分棟化して風の道を確保



共同化による集合住宅の庭と道路



道路の辻にあるポケット広場

今後の活用
keyword

密集市街地における防災性の向上とともに日常的な環境性能の向上（建物緑化、周辺緑化、住棟配置の工夫による風の道の確保）、防災性能の向上と地域生活環境の向上の両立

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-1) みどりによる快適な高質空間形成		
課題	官民連携による防災性の向上と、日常的な賑わいや利便性の向上の実現		
実施事項	防災公園・大学キャンパス・市民開放施設の計画設計でのデザイン調整による一体整備		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災性の向上のため防災公園整備とともに、隣接して市民開放施設や大学キャンパスを整備。整備にあたって、賑わい形成や利便性の向上、まとまりある景観形成をめざして、隣接建物とのデザイン調整による一体的な景観形成とともに、隣接する大学が地域に開く（公園に面したカフェやレストラン配置等）ことで、日常的な賑わい形成と利便性の向上を実現。 		
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 良質な滞留空間（公園・広場等）の形成、住民等の憩いや活動の場の提供、公園広場等の十分なオープンスペースの確保、民間投資や人材の呼び込み、防災性の向上 		

【岩倉防災公園地区（大阪府茨木市岩倉）】

◎施設整備

①防災公園

- ・避難地・救護活動拠点、防災施設（防災パーゴラ、かまどベンチ、非常用トイレ、ハイブリッド照明、雨水貯留施設、あずまや）。

②市民開放施設（公共公益施設）

- ・多目的ホール、図書室、研究・産学連携施設、備蓄倉庫等の防災施設。

③立命館大学キャンパス

- ・公園に面してカフェやレストランを配置し、公園に向けたテラス席を設置。

◎一体的なデザイン調整

- ・公園・大学・市民開放施設がシームレスに一体整備されたランドスケープを形成。
- ・大学キャンパスに合わせ、遊具や公園施設について色彩等のデザイン調整を実施。



大学が公園に開き一体的に整備
(カフェ・レストラン)

今後の活用
keyword

オープンスペースと隣接建物の一体整備、デザイン調整、建物が地域に開く工夫による賑わいづくり、オープンスペースと建物施設との防災施設・設備の役割分担による効率化

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-1) みどりによる快適な高質空間形成		
課題	地域の歴史の散歩道に資する歩行空間を整備したい		
実施事項	まちづくりガイドラインを策定し、沿道の建築物等の景観誘導による歴史・文化軸の形成		
概要	・歴史文化資源が豊富な歴史の散歩道に面するエリアで、まちづくりガイドラインを策定し、歴史・文化軸となる歴史の散歩道の形成を目指した基盤整備とともに、遵守事項として沿道建築物をセットバックして、歩道と民有緑地の一体的なオープンスペースの確保を誘導した。		
導入効果	・緑を活かした良質な街路空間の形成、みどりを活かした身近な生活環境の改善、地域環境資産（歴史・文化）の保全、緑のネットワークの形成		

【広島二葉の里地区（広島市東区）】

◎広島二葉の里地区

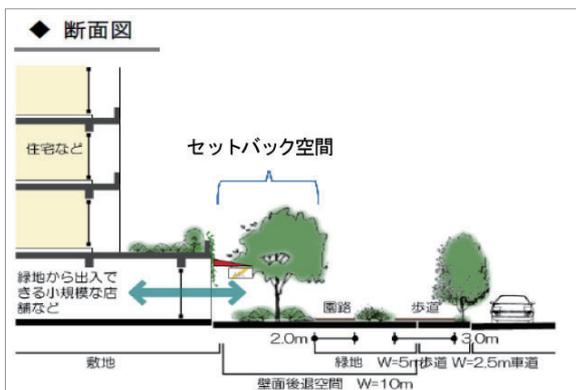
・JR 広島駅北側の歴史資源と緑に恵まれた二葉山のふもとに位置。国・県・市・JR・UR 都市機構で構成された「二葉の里地区まちづくり推進協議会」の連携・協力のもと、公共施設と住宅整備を実施。

◎道路・公園・緑地等の整備

・二葉山の歴史の散歩道ともなる歩道・緑地・民有地からなる「二葉の里歴史の散歩道」の整備。公園緑地については、住民等のワークショップにより検討を進め整備を実施。

◎まちづくりガイドライン

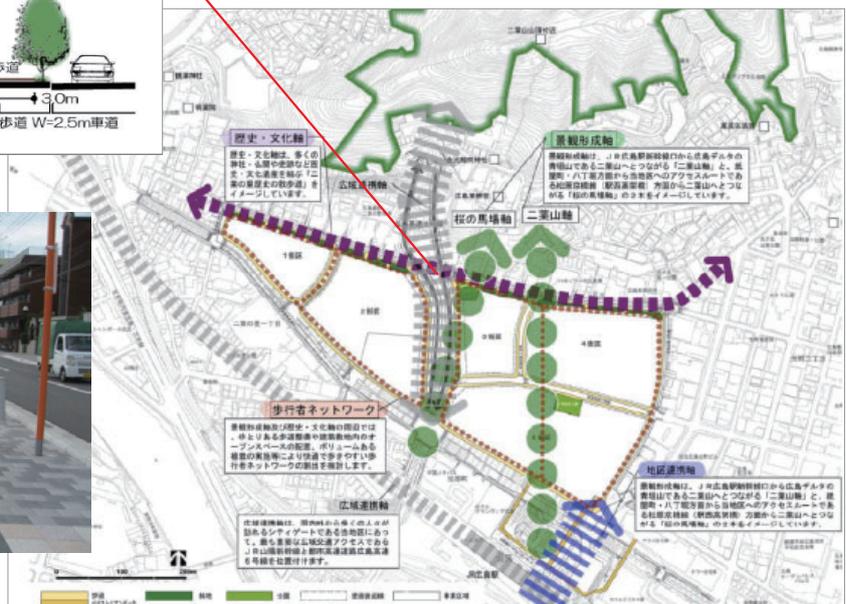
・「まちづくり推進協議会」と「広島駅新幹線口エリアマネジメント推進調整会議」が主体となってガイドラインを策定し、街なみ景観形成を誘導。また地域美化やイベント等による地区の PR 活動を実施。



歴史・文化軸整備イメージ



二葉の里歴史の散歩道



まちの骨格イメージ

今後の活用
keyword

周辺の歴史・文化資産と連携したまちづくり、官民連携で歩道・緑地・民有地のセットバックによる歴史の散歩道の整備、住民等のワークショップによる公園緑地整備

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-2) 身近な生物の生息環境等の保全創出		
課題	住民要望によるビオトープ空間づくりの実現		
実施事項	住民提案によるビオトープづくり提案の実現支援		
概要	・地元住民、行政、UR 都市機構からなるまちづくり協議会から、公園内にビオトープを自分たちで設計し管理運営も行いたいというグループができ、住民自ら計画設計を進め、完成後は、生き物や植物の生息調査、観察会の実施など活発な管理運営活動が続いている。		
導入効果	・身近な生物生息空間の確保、身近な自然との親しみ・交流、住民の地域への愛着、生物多様性の確保、地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）		

【西ヶ原四丁目地区（東京都北区西ヶ原）】

◎住民主体のビオトープづくり

- ・密集市街地内にあった東京外国語大学の移転を契機に、防災公園の設置、狭い道路の拡幅を行い、周辺市街地の防災機能の向上を図った。その防災公園の中に、住民主体のビオトープづくりを進め、完成後も生き物や植物の生息調査、観察会の実施など活発な管理運営活動が続いている。



公園平面図



ビオトープ



ビオトープ拡大図



住民が自ら粘土を使ってビオトープの形状を検討



完成後、生き物や植物の調査を定期的に実施し、掲示板で公表

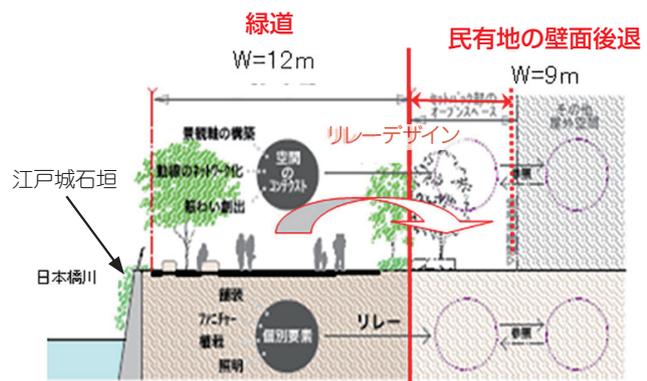
今後の活用
keyword

住民主体のビオトープづくり支援、住民が主体の運営管理

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	d-3) 健康寄与や多様な活動の場、憩いの場		
課題	近隣ワーカーの憩いの場や活動の場ともなる使われる緑道づくり		
実施事項	官民一体となった高質な滞留空間ともなる緑道の整備とマネジメントの実践		
概要	・業務施設が立ち並ぶエリアで、日本橋川沿いの遊歩道の確保とともに近隣ワーカーの憩いの場となるように、官民連携による広幅員でみどり豊かな緑道を整備。整備後もプレイスメイキング社会実験の実施やエリアマネジメントによる賑わいづくりを継続している。		
導入効果	・緑を活かした良質な緑道空間の形成、（近隣ワーカーの）憩いや活動の場の提供、職場環境の改善（バイオフィリックデザイン）、生物多様性の確保、地域ブランディングの向上、みどりを活かしたイベントや活動等の賑わい向上、みどりを活かしたエリアマネジメントの構築		

【大手町川端緑道（東京都千代田区）】

- ・日本経済の中核的役割を担う大手町地区で、建物の老朽化に伴い、業務活動を中断することなく建物を連続的に建て替えを行う「大手町連鎖型都市再生プロジェクト」を実施した。
- ・川端緑道の整備では、景観整備のルールを作成し、民有地の壁面後退（W=9m）と公共空間（W=12m）とを一体化した緑道を確保し、生物生息環境に配慮して約90種類の鳥類やチョウ類が好む木々や草花を植栽した。また、プレイスメイキング社会実験や、キッチンカーの設置や定期的なイベントを開催。



江戸城の石垣の保全



キッチンカーの誘致（エリマネ）



プレイスメイキング社会実験



今後の活用 keyword

官民連携による滞留空間ともなる高質な緑道整備、空間の使い方を試行するプレイスメイキング社会実験、エリアマネジメントによる賑わいづくり、リレーデザイン

大分類	d. 身近な潤いや快適性、賑わい形成に寄与するみどり	段階	都市再生
小分類	d-3) 健康寄与や多様な活動の場、憩いの場		
課題	生産性や創造性の向上やストレスの軽減に資する職場環境をつくりたい		
実施事項	みどりの効用を活かしたバイオフィリック・デザインによる建物緑化等		
概要	・オフィスワーカーの「幸福度の向上」「生産性の向上」「創造性の向上」「ストレスを軽減」を目指し、オフィス環境に積極的にみどりを取り入れることで、ワーカーの環境改善を図るみどりの効用を活かしたバイオフィリック・デザインの考えを取り入れ、建物周辺及び建物施設に積極的な緑化を展開。		
導入効果	・職場環境の向上（バイオフィリック・デザイン）、地区で一体となった環境配慮（多様な主体の連携）、緑のネットワーク形成、微気象緩和・暑熱緩和、不動産価値の上昇、地区のまとまりある良好な街なみ景観形成、防災性の向上、民間投資や人材の呼び込み		

【コモレ四谷（東京都新宿区）】

◎オフィス棟「YOTSUYA TOWER」

- ・住宅も含めた多様な機能を集約している本地区において、高さ 145m、総面積 17,800 坪のオフィスフロアを整備。敷地内には、ワーカーが利用可能な商業施設や文化・交流・スポーツ施設、英会話学校などの利便性を備えるとともに、生産性や創造性の向上・ストレス軽減に寄与するみどりを、周辺のみどりとのつながりを意識しながら、敷地内の広場やせせらぎの整備、建物施設の緑化を行い、快適な職場環境の形成を図っている。



玉川上水をイメージした水の流れやみどりの滞留空間を有し、隣接店舗との賑わい創出を図る三栄通り



建物内での屋上緑化や壁面緑化（じゃかご緑化）によりどこからでもみどりが楽しめるコモレビの広場

今後の活用
keyword

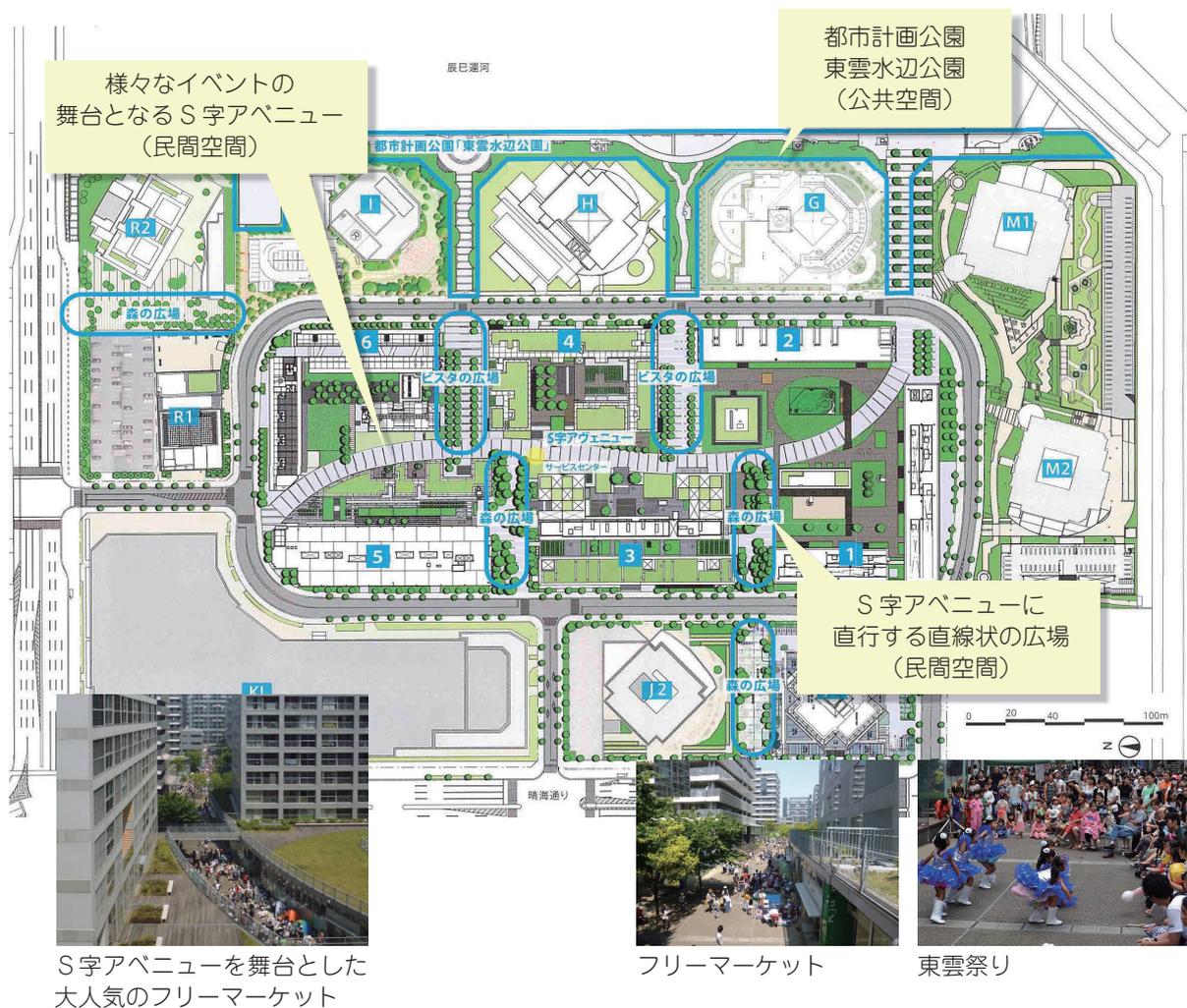
バイオフィリック・デザイン、屋上緑化、壁面緑化（じゃかご緑化）などどこからでもみどりを感
じる環境づくり、地域の歴史を感じさせる環境づくり（水の流れ）

大分類	e. 地域コミュニティ形成やまちの持続性に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	e-1) コミュニティの醸成、愛着の向上 e-2) 管理コストの低減、持続的なマネジメント形成		
課題	地区内の住民交流等のコミュニティ形成や持続的な賑わいの醸成		
実施事項	地区内の特徴的なオープンスペースを有効活用したエリアマネジメント		
概要	・整備後の地区 PR と入居者の交流を兼ねて、地区内のオープンスペースを活用したイベントを実施。入居者等にイベントスペースとして認知され、住民主導によるフリーマーケットやイベントの開催など住民主体のエリアマネジメント活動が行われている。		
導入効果	・地域コミュニティ形成への寄与、みどりを活かしたイベントや活動等の賑わい向上、住民の地域への愛着向上、住民等の憩いや活動の場の提供、住民等地域主体の継続的なイベントや活動の実施、地域ブランディングの向上、地域特性の発揮		

【東雲チャンネルコート（東京都江東区）】

◎東雲チャンネルコートの計画

- ・東雲チャンネルコートは、住宅戸数約 6,000 戸の新しい都心居住のリーディングプロジェクトと位置付け、地域全体の価値向上を目指し、都市基盤の整備、UR 賃貸住宅の整備、民間事業者による開発の整備誘導を行い、まち全体のまとまりあるランドスケープ形成を図っている。
- ・まとまったオープンスペースの整備直後から賑わい形成や地域交流促進のために、イベントを実施することで、空間の使い方が認知され住民主体の持続的なエリアマネジメント活動につながっている。



S字アベニューを舞台とした大人気のフリーマーケット

フリーマーケット

東雲祭り

今後の活用
keyword

官民連携による連続的に確保されたオープンスペースの使い方の提示・PR、地域主体のエリアマネジメント、周辺地域も巻き込んだ持続的なコミュニティ形成

大分類	e. 地域コミュニティ形成やまちの持続性に寄与するみどり	種別	新市街地
小分類	e-1) コミュニティの醸成、愛着の向上 e-2) 管理コストの低減、持続的なマネジメント形成		
課題	新旧居住者間の円滑なコミュニティ形成		
実施事項	里山を活かした交流の場（公園）づくりと自然塾の立ち上げ		
概要	・地元の方々と新たな住民の円滑な地域コミュニティ形成を築くため、環境共生都市として里山環境を保全した公園において、地元の方々をマイスター（講師）に招き、新たに住もう人々を塾生として募り「自然塾」を立ち上げた。		
導入効果	・（地域住民と新住民の）コミュニティ形成への寄与、みどりを活かしたイベントや活動等の販わり向上、住民の地域への愛着向上、住民等地域主体の継続的なイベントや活動の実施、地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）、みどりの管理コストの低減		

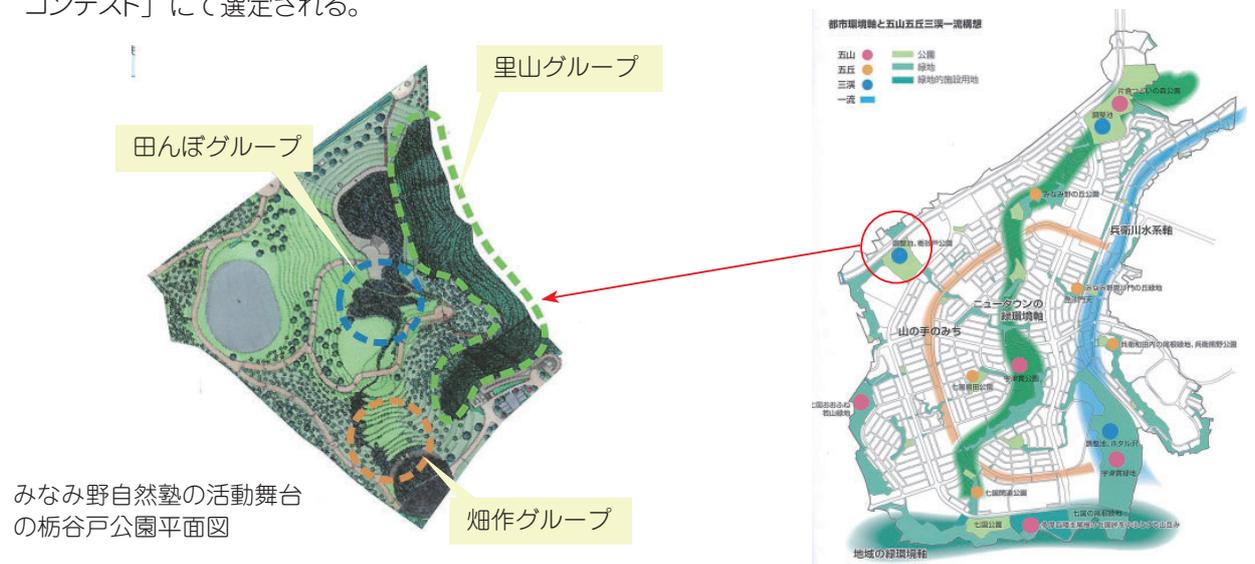
【八王子みなみ野シティ（東京都八王子市）】

◎八王子みなみ野シティ

- ・本地区は、「アーバンビレッジ」をコンセプトに、趣味や地域に根ざした交流を行う「クラブライフ交流都市」、環境にやさしい街「環境共生都市」をテーマにまちづくりが進められ、周辺地域とのつながりを持つ谷戸空間などの地形や緑を地区内に保全し、まちの骨格としてまちづくりを実施。

◎みなみ野自然塾

- ・円滑な新旧居住者の交流と里山文化の継承を目指して「みなみ野自然塾」を立ち上げ、その後、交流の活発化、住民の維持・管理活動への積極的な参加により活動が定着。現在は自治体のアダプト（里親）制度を活用し、地区内の公園の緑管理により、開発前の里山景観の維持管理を実施。
- ・平成 14 年度には、「緑の都市賞内閣総理大臣賞」受賞、平成 15 年には、「日本の里地サトヤマ 30 保全コンテスト」にて選定される。



枋谷戸公園の棚田での田植え



マイスター指導の落ち葉かき



作業後の集合写真

今後の活用
keyword

みどり環境を活かした地元住民と新住民の円滑なコミュニティ形成支援、住民主体の持続的なみどりの管理活動の立ち上げ支援

大分類	e. 地域コミュニティ形成やまちの持続性に寄与するみどり	種別	新市街地
小分類	e-1) コミュニティの醸成、愛着の向上 e-2) 管理コストの低減、持続的なマネジメント形成		
課題	多様で多くのみどり環境の持続的な管理や活用方法の確立		
実施事項	みどりの特性を活かした多様なライフスタイルの提供と市民活動団体の立ち上げ支援		
概要	・みどりを骨格としたまちづくりとして、多くの保全したみどりをどのように管理していくかが課題であったが、計画段階から住民参加を進め、みどりの管理について、市民がみどりに関われるように講義や実習等の勉強会を企画するなど、自主的な住民管理の立ち上げを支援。		
導入効果	・地域コミュニティ形成への寄与、住民の地域への愛着向上、住地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）、みどりの管理コストの低減		

【港北ニュータウン（横浜市都筑区）】

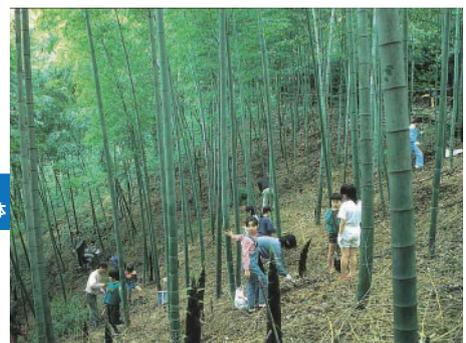
◎多様なみどりの活動団体の立ち上げ

- ・港北ニュータウンは、「緑の環境を最大限に保存し、ふるさとをしのばせるまちづくり」という基本方針のもとに90haにのぼるみどりを公共用地や公益施設、民有地などに多様に持たせ、それを構造的に結んで都市の骨格に据えている。
- ・これらのみどりを持続的に維持管理していくため、計画初期段階より住民参加でまちづくりを進め、公園や保存緑地の管理運営も住民参加方式で進めることとし、自然林の管理については「雑木林塾」という講義と現場実習からなる勉強会をUR都市機構が企画し、住民に参加を呼び掛けた。現在、その活動はUR都市機構の手を離れ、住民のリーダーによる雑木林塾の開催と、公園、保存緑地の愛護会結成へと発展。その後、各愛護会が連携し、「港北ニュータウン緑の会」が結成されるまでに発展し、行政と連携した持続可能な管理が続いている。
- ・そのほか、茅ヶ崎公園内で自然度の高い生物相保護区（現在は茅ヶ崎公園自然生態園）では、公園愛護会とは別に、生物相保護区を市民の集まりである「NPO 法人茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会」が、横浜市からの指定管理者に選定されて管理活動を行っている。

港北ニュータウン緑の会組織図とフィールド（1998年）

港北ニュータウン緑の会	モルフォ生物同好会	自然地形	住宅系 公共空地系
	自然に学ぶ会		
	早淵川をかなでる会	河川	
	けやきが丘森林愛護会	保存緑地	
	ファミリーグリーン会		
	山崎公園ネイチャークラブ	地区公園	
	鴨池公園愛護会	近隣公園	
	鳥山公園愛護会		
	大原みねみち公園愛護会		
	ささぶねのみち愛護会	緑道	

ニュータウン事業完了時点での緑の会組織図（1998年）



愛護会による自然林の管理活動



NPOによる自然生態園での生き物情報の展示

今後の活用
keyword

みどり環境を活かした新たなライフスタイルの提案、みどりを活かした活動団体の立ち上げ支援

大分類	e. 地域コミュニティ形成やまちの持続性に寄与するみどり	種別	都市再生
小分類	e-1) コミュニティの醸成、愛着の向上 e-2) 管理コストの低減、持続的なマネジメント形成		
課題	市民等に積極的に使われ、関わり続けられる持続可能な公園づくり		
実施事項	広大なみどり空間を活用し、子育て施設やパークセンター等整備とハーフメイドの公園づくり		
概要	<p>・防災公園を整備するにあたって、必要な防災機能の整備とともに、日常的に市民が利用し関わり続けられる公園を目指して、公園内に子ども未来館（子どもを対象にした防災機能も有する施設）や、全天候対応型の屋内子ども施設、活動・交流の拠点としてのパークセンター、歴史に関する市民活動拠点施設、民活カフェ等の整備とともに、時代やニーズにあわせて市民が公園を変化させていくハーフメイドエリアを設定し、市民とともに育てる公園として整備。</p>		
導入効果	<p>・住民等の憩いや活動の場の提供、地域コミュニティ形成への寄与、地域のみどりへの持続的な関わり（管理・活用等）、住民の地域への愛着向上、防災性の向上</p>		

【安満遺跡公園（大阪府高槻市）】

◎安満遺跡公園（防災公園）

- ・本公園は、京都大学高槻農場跡地を活用し、国史跡指定地（12.8ha）と防災事業エリア（8.1ha）を合わせたエリアを防災公園として整備。
- ・防災機能として、広域避難地となるスペース、ボランティア拠点スペース、仮設住宅建設地スペース、ヘリポートスペース、緊急車両駐車スペース、緊急活動拠点などを中心とする各種防災設備（防火水槽、防災トイレ、井戸、防火樹林帯、防災倉庫、耐震性貯水槽等）を整備。
- ・日常利用機能として、パークセンター（活動・交流施設）、民活屋内子育て施設、民活カフェ、既存の農場建物の活用（歴史関連機能、市民活動拠点等）、高槻子ども未来館（区域外）など、民間活力も活用しながら、日常的に使われる持続性のある公園づくりを実施。
- ・本公園は、市民とともに育て続ける公園として、つくりこまず、時代やニーズに合わせて変化させていくハーフメイドエリアを設定し、計画段階から将来にわたって、市民とともに育て成長する公園としている。

※1
防災公園街区整備事業
災害に対し脆弱な構造となっている大都市地域等の既成市街地において、防災機能の強化を図ることを目的として、地方公共団体の要請に基づき、工場跡地等を機動的に取得するとともに、防災公園と周辺市街地の整備改善とを一体的に実施する事業



今後の活用
keyword

市民が関わり続けられるハーフメイド型の公園づくり、民間活力による持続的な運営管理、みどりを活かした民間活力による賑わい形成、使われる防災公園

事例地区一覧

事例名	ページ
港北ニュータウン	14, 25, 44
流山おおたかの森	15
八王子みなみ野シティ	16, 17, 43
シャレール荻窪	18
江古田の杜	19, 35
根岸三丁目地区	20
世田谷ティーズヒル	21
西ヶ原四丁目地区	22, 39
桃井三丁目地区	23
薄磯地区	24
さいたま新都心公園 (さいたま新都心地区)	26
ハートアイランドSHINDEN	27
田町駅東口北地区	28
コモレ四谷	29, 41
大崎駅周辺地域	30
豊洲三丁目3街区地区	31
九州大学六本松跡地地区	32
越谷レイクタウン	33
リボンシティ	34
京島三丁目地区	36
岩倉防災公園地区	37
広島二葉の里地区	38
大手町川端緑道	40
東雲キャナルコート	42
安満遺跡公園 (高槻市八丁畷地区)	45

事業名	面積	整備完了時期
ニュータウン事業	約1,341ha	1996年
ニュータウン事業	約275ha	2019年
ニュータウン事業	約394.3ha	2008年
団地再生事業	約2.6ha	2011年
住宅市街地整備事業	約4.4ha	2018年
密集市街地整備事業 (住宅市街地総合整備事業)	約0.3ha	2012年
土地区画整理事業		
密集市街地整備事業 (住宅市街地総合整備事業)	約3.0ha	2007年
防災公園街区整備事業	約4.5ha (うち防災公園2.2ha)	2011年
防災公園街区整備事業	約9.1h (うち防災公園4.0ha)	2011年
土地有効利用事業		
復興支援	約37.0ha	2017年
防災公園街区整備事業	約12.7ha (うち防災公園1.0ha)	2018年
土地区画整理事業		
住宅市街地総合整備事業	約20.0ha	2012年
関連公共公益施設整備制度		
土地区画整理事業	約8.2ha	2016年
市街地再開発事業	約2.4ha	2020年
市街地再開発事業	約60ha	2013年
住宅市街地整備事業	約52.9ha	2007年
土地区画整理事業		
住宅市街地整備事業	約6.5ha	2016年
ニュータウン事業	約225.6ha	2018年
住宅市街地整備事業 (住宅市街地総合整備事業)	約11.8ha	2006年
密集市街地整備事業	約0.2ha	2013年
防災公園街区整備事業	約3.0ha (うち防災公園1.5ha)	2017年
土地区画整理事業	約13.8ha	2014年
関連公共公益施設整備制度		
土地区画整理事業		
市街地再開発事業	約17.4ha (うち緑道 約0.9ha)	2014年
土地有効利用事業		
住宅市街地整備事業	約16.4ha	2013年
防災公園街区整備事業	約8.7ha (うち防災公園8.1ha)	2021年予定

UR都市機構が取り組むグリーンインフラ 事例集

2020年7月発行

- <企画・監修> 独立行政法人UR都市機構 都市再生部
- < 編集 > 株式会社URリンケージ 都市整備本部
都市環境室 都市環境デザイン課
- < 発行 > 独立行政法人UR都市機構 都市再生部
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー8階

街に、ルネッサンス



UR都市機構

